

平成 21 年度

自己評価アンケート調査報告書

山梨県立大学自己評価委員会

平成 22 年 7 月 22 日

平成 21 年度自己評価アンケート調査報告書発刊にあたり

自己評価委員会委員長 伊藤洋

山梨県立大学は平成 23 年、大学として義務付けられている開学から 7 年以内の「期間別認証評価」を受ける最終年度を迎える。そこで、平成 21 年度における本学の「自己評価」は、独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行した『大学評価基準及び選択的評価事項の分析にあたっての留意点等について』（平成 21 年 6 月）に準拠して実施した。

「自己評価」の対象期間は平成 17 年 4 月から平成 22 年 3 月までとし、「自己評価」の実施は自己評価委員会で担当、「自己評価」の実質作業については、自己評価専門委員会が当たることとした。また、「自己評価」の作業は各学部を設置された学部自己評価委員会、既存の各委員会との連携のもとに実施された。そして、これら「自己評価」活動について、『平成 21 年度自己点検評価報告書』を作成し、平成 22 年 5 月に発刊、公表した。

このような、大学評価・学位授与機構が示した基準別評価の留意点に準拠した「自己評価」の実施に当たり、学生、教職員、卒業生、保護者、卒業生就職先関係者の本学に対するニーズを把握する必要がある。そこで、本学の今後の運営の参考にすることを目的として、学生等を対象とした自己評価アンケート調査を実施した。アンケート調査の結果、および結果の分析に基づく提案は、平成 22 年度の本学における「自己評価」活動、特に改善に関わる活動に寄与するものである。ここに、その内容を「平成 21 年度自己評価アンケート報告書」として発刊、公表し、全学的に共有し、今後の「自己評価」活動の礎としたい。

山梨県立大学自己評価アンケート調査にご協力いただいた学生、教職員、卒業生、保護者、卒業生就職先関係者各位に感謝の意を表すとともに、今後も、本学の運営、教育活動へのご意見を寄せて頂けるようお願い次第である。

目 次

1.	平成 21 年度自己評価アンケートの概要・・・・・・・・・・	1
2.	学生自己評価アンケート調査・・・・・・・・・・	4
3.	教職員自己評価アンケート調査・・・・・・・・・・	8
4.	卒業生アンケート調査・・・・・・・・・・	10
5.	保護者アンケート調査・・・・・・・・・・ (入学生保護者、卒業生保護者)	11
6.	卒業生就職先訪問調査・・・・・・・・・・	12
7.	自己評価アンケート調査にみられる課題・・・・・・・・	13
8.	まとめ・・・・・・・・・・	14

資 料

資料 1	学生自己評価アンケート調査結果・・・・・・・・	16
資料 2	教職員自己評価アンケート調査結果・・・・・・・・	19
資料 3	卒業生アンケート調査結果・・・・・・・・	22
資料 4	入学生保護者アンケート調査結果・・・・・・・・	28
資料 5	卒業生保護者アンケート調査結果・・・・・・・・	31
資料 6	卒業生就職先訪問調査結果・・・・・・・・	33
資料 7	アンケート調査票・・・・・・・・	35

1. 平成 21 年度自己評価アンケート調査の概要

(1) 目的

平成 21 年度自己評価アンケート調査は、山梨県立大学開学 5 年目、平成 22 年度から公立大学法人化が予定される中で、今後の本学の運営の参考とするために実施された。

(2) 実施手順、実施体制

平成 21 年度自己評価アンケート調査実施手順は、表 1 のとおりである。

本アンケート調査は、自己評価専門委員会においてアンケート調査項目を決定し、事務局学務課において準備を行い、自己評価専門委員会と学部、学科の連携により、全学的体制のもとで実施された。

なお、本アンケート調査に関する自己評価委員会、同専門委員会等における審議過程は、表 2 のとおりであった。

(3) 調査対象、調査時期、調査方法

調査対象は、本学在校生、本学卒業生（卒業式当日）、本学保護者（卒業時、入学時）、教職員とした。

調査時期は、平成 21 年 1 月から 3 月、一部 4 月初旬とした。具体的に、在学学生は平成 21 年 1 月から 2 月、本学卒業生、および保護者（卒業時）は平成 21 年 3 月 25 日卒業式当日、保護者（入学時）は平成 21 年 4 月 7 日に調査を実施した。

調査方法は、自記式とし、調査用紙を配布、回収を同時に行う集合調査、および後日回収する留め置き調査の併用とした。

また、卒業生就職先を対象とした調査については、各学部と本学就職幹との連携により卒業生就職先を訪問、調査票に基づいたヒアリングを行うこととした。就職先対象の調査は平成 21 年 2 月から 3 月に実施した。

(4) 調査項目

本アンケート調査項目については、平成 22 年度実施分「大学評価基準及び選択的評価事項の分析に当たっての留意点等について」に基づき、自己評価専門委員会の各基準別担当委員から、本学自己点検評価に必要な調査項目を提出、これらの項目を同専門委員会において十分に審議、検討し、決定した。このことにより、本アンケート調査は、大学評価基準に対応して必要とされる自己点検評価や授業改善等のための調査となっている。

なお、本学では表 3 に示すとおり、各学部、部局、委員会等においても自己評価、教育の質改善のための各調査が実施されている。本アンケート調査の内容は、これらの調査との重複を避けて決定された。

表 1 平成 21 年度自己評価アンケート調査実施手順

実 施 手 順	担 当
平成 21 年度自己評価アンケート調査実施について決定	自己評価委員会
調査方針の確認、調査対象、時期、調査項目の検討・決定	自己評価専門委員会
調査用紙配布手順の策定、調査用紙の準備	事務局学務課
調査用紙の配付、回収	各学部、学科
調査データ入力、分析	自己評価専門委員会
調査報告書の作成、公表	自己評価専門委員会

表 2 平成 21 年度自己評価アンケート調査に関わる審議事項

月 日	委員会名	審議事項（議事録記載事項）
平成 21 年 9 月 24 日	第 2 回 自己評価委員会	本学自己評価に際し、満足度調査を実施し、自己評価専門部会においてこの案を作成することとした。
平成 21 年 11 月 5 日	第 7 回 自己評価専門委員会	満足度調査のアンケート内容、項目について大学評価基準に対応した提案がなされた。
平成 21 年 11 月 19 日	第 8 回 自己評価専門委員会	調査の内容、項目について検討が行われた。調査時期は平成 22 年 1 月以降、調査対象は本学学生、教職員、学外関係者とした。
平成 21 年 12 月 3 日	第 9 回 自己評価専門委員会	調査票作成後、学部等自己評価委員会により本調査が実施されることとなった。
平成 21 年 12 月 17 日	第 10 回 自己評価専門委員会	学生を対象とした調査項目がまとまり、最終調整を行うこととなった。
平成 22 年 1 月 7 日	第 11 回 自己評価専門委員会	学生対象のアンケート項目、実施スケジュールを確認した。教職員、卒業生、外部関係者（保護者、就職先）対象の調査項目、スケジュールを検討した。
平成 22 年 1 月 21 日	第 12 回 自己評価専門委員会	卒業生就職先対象のアンケート調査について、飯田キャンパスの 2 学部においては各学部別に就職幹と連携して実施することとした。外部関係者対象調査項目について検討した。
平成 22 年 2 月 18 日	第 13 回 自己評価専門委員会	自己評価委員会遠藤みどり副委員長より、学生対象の調査結果が「2009 年度学生自己評価」として示された。
平成 22 年 3 月 1 日	第 14 回 自己評価専門委員会	学生対象調査の自己評価について、分担して分析することとなった。また、教職員対象「2009 年度教職員自己評価」についても同様に分析することとなった。
平成 22 年 3 月 11 日	第 15 回 自己評価専門委員会	学生、教職員、就職先対象の自由記述記入様式について決定した。
平成 22 年 3 月 18 日	第 16 回 自己評価専門委員会	学生、教職員アンケートの自由記述について集約した。保護者対象調査内容について検討した。
平成 22 年 3 月 26 日	第 3 回 自己評価委員会	「平成 21 年度自己評価専門委員会における自己点検の結果と課題について」において、本調査の概要、今後の予定を報告した。
平成 22 年 3 月 31 日	第 14 回評議会	「平成 21 年度自己評価報告書」、「2009 学生自己評価」「2009 教職員自己評価」「2009 卒業生保護者自己評価」として調査結果を報告した。
平成 22 年 6 月 2 日	第 1 回評価本部 自己点検評価委員会	「平成 22 年度自己点検評価に関する実施方針・手順」に 7 月中旬までに本調査結果分析の実施、本年度アンケートの実施について明記した。
平成 22 年 6 月 10 日	第 1 回 自己評価専門部会	「平成 22 年度自己点検評価に関する実施方針・手順」を確認し、役割分担を決定した。
平成 22 年 7 月 1 日	第 2 回 自己評価専門部会	「平成 21 年度自己評価アンケート報告書」を平成 22 年 7 月に発行することとした。

表3 平成21年度各学部、部局、委員会におけるアンケート調査

調 査 名 称	実 施 部 局 等
全学共通科目に関するアンケート調査	教養教育運営委員会
平成21年度キャンパス・ハラスメントに関する調査	人権委員会
新任教員・職員 参加者事前アンケート 新任教員・職員 参加者事後アンケート	全学FD委員会
全学FD・SD研修会アンケート	全学FD委員会
授業に関するアンケート調査	全学FD委員会
入学試験に関するアンケート	入試委員会
図書館利用者ニーズアンケート調査	図書委員会
看護学部実習評価アンケート	看護学部
大学院授業評価アンケート	大学院自己評価委員会
看護学研究科自己点検評価のための調査	看護学研究科
大学院の質改善に関する実態調査	看護学研究科
学生支援等に関する実態調査	看護学研究科（平成17～20年度前期）
修了生調査結果	看護学研究科
就職先管理者の調査	看護学研究科

※平成20年度以前の実施については時期を明記した。

2. 学生自己評価アンケート調査

学生自己評価アンケート調査における、配布部数は 1,143 部、回収は 683 部、回収率は 60%であった。回収された調査票のデータを、資料 1 に示すとおり、全学、学科別に集計し、その割合を求め、分析した。また、自由記述については、別途とりまとめ、分析し、本報告書本文にこの概要を記述した。

1) 大学の目的等について

大学の目的等について、「大学の目的について、大学シラバス・HP 等で今までに読んだことがある」と回答した学生は全学で 87.6%、「卒業要件について知っている」学生は 77.2%、「成績評価が適切に行われていると思っている」学生は 82.9%であった。

また、これらの結果に学科による顕著な違いは認められなかった。

このように、「大学の目的」及び「卒業要件」の周知については、おおむね周知されている結果が示されており、本学におけるこれらについての周知の方策の効果が示された。

しかし、「いいえ」と回答した学生が 2 から 3 割おり、これらの学生にどのように周知していくかが今後の課題となる。また、「成績評価」については概ね適切と判断されていた。

2) オリエンテーションやガイダンスについて

「学年当初に実施されるオリエンテーションやガイダンスが履修の役にたったか」について、全学で 91.5%の学生が「そう思う」、「ややそう思う」と回答し、オリエンテーションの有効性が示された。

自由記述「オリエンテーションやガイダンスに関しての意見・要望」に、若干名であるが、意見が述べられた。フレッシュマンセミナーについて、「継続して行ったほうが良い」等肯定的な意見が 6 件に対し、宿泊を伴う国際政策学部と人間福祉学部のセミナーに対しては、「宿泊」、「遠くへ行く」ことも含め否定的な意見(3 件)があった。オリエンテーションの日程については、「期間が長い」(6 件)、「スケジュールが過密である」(2 件)、という意見が出された。内容については、「不十分」「分かりやすくしてほしい」との要望が 9 件出されたが、オリエンテーションやガイダンスの有効性について、「役立った」、「意欲が増した」等の肯定的な意見が 12 件得られた。今後、スケジュールの改善、分かりやすさを求める学生の要望に応え、スケジュール、内容ともに検討を加え、学生に分わかりやすいオリエンテーションとなるように進める配慮が必要と判断される。

3) 学習支援について

「学習を進める上で、担任やチューター教員、科目教員への相談が必要な時に得られたか」について、全学で 77.8%の学生が、「そう思う」、「ややそう思う」と回答していた。この質問項目の回答については、学科間による相違がみられ、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生は、人間形成学科が 91.9%、看護学科が 81.1%、総合政策学科、国際コミュニケーション学科及び福祉コミュニティ学科では 73%前後であった。このように人間形成学科では相談が得られたと答える学生が多く、これは定員が 20 名と少なく、

個々の学生への指導が行き届く環境にあることによると考えられる。一方、定員が 100 名の看護学科においても、8 割の学生が必要な相談が得られたとしており、他の学科についても 7 割以上の学生が、相談が得られたと回答し、本学の学生支援体制として、教員が直接かかわる指導上のソフト面については概ね学生に支持されていると判断される。

自由記述「本学での相談・援助などの学習支援に関しての意見・要望」においては、教員への対応には、「親切」、「熱心」、「きちんと答えてくれる」、「親身になってくれる」等の肯定的な意見が 11 件得られた。一方、「的確な助言が得られない場合がある」、「オフィスアワーに不在の場合がある」をはじめとするやや否定的な意見は 9 件であった。

国際政策学部と人間福祉学部の担任制については、「関わりがない」等の否定的な意見が 8 件あった。看護学部におけるチューター制については、「話しやすい」、「助かっている」という意見が 4 件、「利用できてない」、「関わりが少ない」との意見が 6 件あった。

また、実習に関わる相談を中心に相談体制の充実を求める意見が 7 件出された。

個別の教員の対応、他の職務との兼ね合い等、学生への相談・助言には困難もあるが、教員の学生への対応についてきめ細かな配慮が求められている。

4) 自主学習について

「自主学習スペースは十分だと思いますか」という質問に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生は 42.8%であった。学科別にみると、看護学科においては、「そう思う」、「ややそう思う」と答えた学生が 52.8%とほぼ半数であったが、国際政策学部と人間福祉学部においては 35%～45%にとどまった。また、「コンピューターの利用環境に満足していますか」という質問に対し、「そう思う」、「ややそう思う」と答えた学生は全学で、30.7%であった。

自由記述「自主学習環境について不足していると思うところ」について、特に PC 環境については、顕著に多い 288 件の意見が述べられた。これらの意見は、「PC（の作業）が遅い」（78 件）、「PC 台数が不足」（70 件）、「PC の不具合」（49 件）、「利用時間の制限」（28 件）、「プリンタの不具合」（26 件）等であった。図書館に関して、「開館時間が短い」（40 件）、「狭い」（17 件）、「PC が遅い・台数が少ない」（15 件）等の意見があった。その他、「自由に利用できる場所が少ない」（75 件）、「24 時間利用できる場所がほしい」（13 件）、「ロッカーがない等」（8 件）、「カフェテリアの開放時間、マナー、広さ」（11 件）の意見があった。

このように、自主学習環境については、特に PC 環境について多くの学生が満足していないことが明らかとなった。今後、学内に配備されている PC の台数、使用時間、維持管理について、改善が求められている。また、図書館の開館時間、カフェテリアを含め学生が自由に使えるスペースへの希望があり、このような点についても今後検討していく必要がある。

5) 生活支援について

「生活支援等（健康・生活・進路・各種ハラスメント）等に関する学生相談助言体制が充実していると思いますか」という質問に対して、「そう思う」、「ややそう思う」との回答は全学で 81.1%であり、概ね学生の満足が得られている状況が示された。

6) 施設設備について

「学生便覧、各種施設設備の利用案内等をとおして、本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか」という質問に、「そう思う」、「ややそう思う」との回答は全学で51.9%であった。ほぼ半数の学生に周知されているものの、さらに周知の方策が必要であると判断される。

7) 授業の質の向上や改善に向けての要望

自由記述「授業の質の向上や改善に向けての要望」について、各学部別に意見を分析した。国際政策学部では、特に「キャンパス移動への配慮」(5件)、「適切な大きさの教室」(2件)等の意見があった。出欠について、「履修登録期間は出欠をとらないでほしい」(5件)「出欠・遅刻のチェックをしっかりとしてほしい」(2件)等の意見があった。また、授業評価について、「フィードバック・公開を望む」(6件)、「授業の中間に実施してほしい」(2件)の意見が述べられた。このほかにカリキュラムについて3件、履修手続きについて6件、情報伝達について3件、授業内容・方法について14件の意見が寄せられた。

人間福祉学部福祉コミュニティ学科では、特に履修登録に関する意見が「PCでの履修登録がスムーズにできるようにしてほしい」等、計7件寄せられた。このほか、「PCの不具合」、「キャンパス間移動の大変さ」、「ロッカーの配置」、「マイクのこまめな点検」が指摘された。「授業評価の公開」、「科目におけるテキスト準備の公平性」、「授業評価、セクハラアンケートの学生の声を生かしてほしい」との意見が出された。人間形成学科では、非常勤講師と推察されるが、「外部講師について多い。」「選び方を話しあってほしい」との意見があった。「履修登録の不備」(2件)、履修方法について「選択の幅」、「他学部、他学科科目の履修」、「キャンパス間移動をなくしてほしい」(4件)の要望があった。

看護学部看護学科においては、施設・設備に関して「空調の不備」(4件)、「パワーポイント使用時の教室の明るさ」、「前後の席の狭さ」、「教室のカーテンの不備」、「ロッカーが狭い」等の意見があった。教育内容・方法に関しては「就職指導の充実」、「教職関連授業での情報伝達」、「課題が多いので調整してほしい」(2件)、「授業時間を守ってほしい」、「授業連絡を行き届かせてほしい」等の意見があった。また、「図書館のグループワークスペース、自主学習スペースの確保」が要望されていた。

このように、飯田キャンパスでは「教室等の施設、設備の不備」、「履修登録方法の不備」、「キャンパス間移動」についての意見が多く、また、「授業評価の公開、フィードバック」が求められていた。池田キャンパスでは、「空調の不備」、「教室設備の不備」が指摘された。また、教育内容・方法等については各学部個別の意見が出されており、各学部においてそれぞれ、これらの意見を検討する必要があることが示された。

8) 平成21年度看護学研究科自己点検評価のための調査について

大学院看護学研究科においては、独自の項目により、大学院生を対象に、自己点検評価を目的とした調査を行った。大学院生25名に対して、13名(1年次10名、2年次3名)から回答を得、回収率は52%であった。結果の概要は次のとおりである。

学習支援について、「そうである」、「ややそうである」という回答を合わせて分析する

と、シラバスは「活用できる」ものであると全員が回答し、「成績評価の基準」を理解しているという回答は10名、修了要件を「理解している」は11名であった。「昼夜開講制度の導入」については11名から、「長期履修制度の導入」については12名から要望があった。「院生室」には11名が、「情報ネットワークの整備」には12名が満足しており、情報ネットワークを「効果的に活用している」学生は11名であった。学習支援全般に10名が満足していた。ほとんどの学生が成績評価や修了要件を理解しており、学習環境にもほぼ満足しているが、昼夜開講制度、長期履修制度については導入の要望があり、この点について今後の改善が求められていると判断される。また、学習環境について、「院生室の椅子の数や本棚の整備」、「図書館の日曜、夏休み、冬休みの開館」等への要望が出された。

1 年次対象のガイダンスについては、看護学研究科の目的理解、履修要件、施設利用、図書館利用及び経済的支援については全員（10名）が理解していると答えた。また、「情報ネットワークの活用方法について理解できた」、「高度看護専門職業人としての意識が高まった」、「ガイダンスが入学後、学習する上で役立っている」と、それぞれ9名が答えた。

2 年次対象のオリエンテーションについて、教育目的を再度確認できたか等について質問をし、「再度確認できた」との学生は2名、修了までの履修要件について「理解できた」学生は1名、「中間発表までのスケジュール」と「提出物」について理解できた学生は1名、「修論提出までのスケジュール」と「提出物」について理解できたとの回答は2名であった。

このほか、「大学院生活全般について困っていること、改善を望むこと、要望」について意見が出された。「昼夜開講制度、長期履修制度の導入」、「CNS コースのガイダンス」、「複数教員体制」、「食堂」等への要望とともに、教員や事務局の支援への感謝の意も述べられていた。

9) 国際政策学部・人間福祉学部で進められている大学院設置について

本アンケート調査と合わせて、該当大学院進学への関心の有無についての質問項目を設け、回答を得た。

その結果、国際政策学部系の大学院の進学への関心について、全学で13.7%の学生が、「ある」、「ややある」と回答した。特に総合政策学科では30.3%、国際コミュニケーション学科では38.8%が、「ある」、「ややある」と答えた。

人間福祉学部系の大学院については全学で14.8%の学生が、関心が「ある」、「ややある」と回答した。福祉コミュニティ学科では33.5%、人間形成学科では31.1%の学生が、関心が「ある」、「ややある」と答えた。

このように、所属する学部に関わる大学院設置に対し、3割の学生に関心があることが明らかとなった。

3. 教職員自己評価アンケート調査

教職員自己評価アンケート調査における配布数は 157 部、回収数は 107 部、回収率は 68%であった。回収された調査票のデータを資料 2 に示すとおり、全学、所属別に集計し、その割合を求め、分析した。また、自由記述については、別途とりまとめ、分析し、その概要を記述した。

1) アンケート調査の回答割合について

大学の目的等の周知に関して、「大学の目的について、大学案内・シラバス・HP 等で学んだことがありますか」という質問に 96.3%の教職員が「はい」と答えた。この回答率は極めて高く、「大学の目的等の周知」について十分な対応が行われていると判断される。

施設・設備に関して、「あなたは学生便覧、各施設・設備の利用案内を通して、本学の施設・設備の運用管理について知っていますか」という質問には、86.9%の教職員が「はい」と回答した。学部別には、国際政策学部の教員の回答が 70.8%とやや低いものの、施設・設備の運用管理について概ね周知されていた。

大学の運営に関して、「個人の意見を大学の運営に反映させる仕組みがあると思いますか」という質問に、「はい」と回答した教職員は 55.1%であった。また、所属別にみると、教員については、学科により多少の違いはあるものの 50~60%が「はい」との回答であったが、事務局職員で「はい」との回答は 36.0%であり、個人の意見が大学の運営に反映されてないとする事務局職員が多いことが明らかとなった。個人の意見を大学の運営に反映させる仕組みについて、教職員に対し、まずは、本学の意見集約の仕組みを周知する等の取り組みを行うとともに、教員、職員ともに意見を出していける仕組みづくりの検討が必要であることが明らかとなった。

学部運営に関して、「学部運営に関する個人の意見を会議等で出せていると思いますか」という教員を対象とした質問に対する、「はい」との回答は、全学で 44.9%と半数を下回っていた。学部別には、「はい」との回答は人間福祉学部 81.8%、国際政策学部 62.5%、看護学部 41.7%であった。この要因として、看護学部においては教員数も多いことによるとも考えられるが、今後、少なくとも学部運営に個人の意見を提出する仕組み等の周知についての配慮が必要であると判断される。

「他の教職員の活動状況を知る機会がありますか」という質問に、「はい」との回答は全教職員で 53.3%、「ほかの委員会の活動状況を知る機会がありますか」という質問に、「はい」との回答は全教職員で 53.3%であった。これらの回答を所属別にみると、「委員会活動について知る機会がある」と答えた事務局職員は 30~40%にとどまり、看護学部においては他学部より多く 69.4%であった。看護学部の教授会における、詳細な委員会報告等がこの結果をもたらしたものと考えられる。

2) 自由記述回答について

回答が自由記述となっている設問に対し、数多くの意見が寄せられた。ここでは意見が多く出された内容について集約して記述することとした。

○ 職務を遂行する上でのスキルアップ

「自分の職務を遂行する上で、どのようなスキルアップのための研修会に参加したいか」という質問に対し、数多くの意見が出された。特に教育改善について、「教育方法の改善」(9件)、「各教員の専門に関する研修」(8件)、「ICT、PC 研修、統計処理研修」(5件)、「研究能力のスキルアップ」(2件)が挙げられた。さらに、「研究倫理上の研修会」、「研修会より主体的な研究支援」、「研究倫理上の研修」、「文献検索の方法」、「海外研究者の講演」等を希望する意見が出された。一方、研修等に関して、「研究・教育の時間の確保」(2件)、「委員会等で東京での研修参加が困難」という意見、「数日にわたる研修参加」、「サバティカル制度の創設」、「大学院への進学」を希望する意見が出された。事務局においてはファシリテーション、クレーム対応、タイムマネジメント等の研修の希望が多く、述べ 27 件が記述された。また、保険、メンタルヘルス関係研修について、2 件の希望があった。

○ 大学教育における教育改善・教職員の資質向上

「大学教育における教育改善・教職員の資質向上のための活動(FD・SD)やその実施体制について望むこと」について、数多くの意見が出された。研修分野に関して、「教育力の向上のための研修」(4件)、「教育 GP 関連」、「指導案作成」について希望があった。研修方法については、「小規模の勉強会実施」(2件)、「FD 参加率の向上・全員参加」(2件)、「授業参観の有効性と活発化」(2件)、「回数を絞ってほしい」、「時期・時間の工夫」、「タイムリーな内容」、「数年計画の企画」という要望が記述された。

学生の授業評価に関して、「授業評価の公開」(2件)、「学生の意見を重視すべき」、「授業評価数値アップにこだわるべき」、「評価する学生の資質向上対策も必要」という意見が出された。

FD 委員会活動について、「研修年間計画の事前連絡が必要」、「委員の負担が重い」という意見とともに、「FD 活動が活発になってきている」、「実践に直結する企画がされてきている」という本学 FD・SD 活動を評価する意見がだされた。

事務局においては、「職員のサービス意識の向上」、「職員が大学を知ること」、「環境に配慮したコスト意識の啓発 FD」が求められていた。また「教員が大学にいないことがある」(4件)、「講演会実施のみが FD・SD ではない」(2件)、という意見が出された。

○ 運動場・体育館・講義室等の施設・設備

「運動場・体育館・講義室等の施設・設備について、現在困っていること、改善を要望することはありますか」について、飯田、池田のキャンパス別に分析した。

飯田キャンパスにおいては、「教室不足」(6件)、「教室への視聴覚機器(プロジェクター等)の設置」(11件)等、計 22 件の要望があった。体育館について、「改修・新築の必要性」が 9 件であった。このほか、「体育館へのわたり廊下の整備」、「運動場の整備」、「図書館の新築」が希望され、「研究室の狭さ」、「カフェの狭さ」、「PC 不足」、「会議室不足」、「エレベーター不足」を含む計 21 件の意見があった。

池田キャンパスにおいては、「講義室」に関して視聴覚機器、机と椅子の不具合、空調・冷房機器の改善、照明の改善・教壇のきしみについて 21 件の意見が寄せられた。このほか、「エレベーターの設置」(2件)、「研究棟実習室間の屋根付き通路の設置」(3

件)、「清掃」、「駐輪場の維持管理」、「省エネ対応」、「トイレ不足と改修」への希望とともに、教室管理に関して「学生の自主学習の場の確保と教室開放手続きの簡素化」、「教室使用状況を把握するための IT システムの導入」、「キャンパス間交通手段の確保」、「ホワイトボードマーカーの適切な配備」の希望があった。

事務局においては、講義室に関して 10 件、体育館、運動場に関して 8 件の、教員とほぼ同様の意見があった。図書館については飯田キャンパスでの「空調設備の古さ」、「狭い・暗い」等の意見があった。その他、「PC 不足」、「入学者選抜業務用の部屋」、「事務室の狭さ」、「会議室、駐車場の狭さ」、「トイレ表示のわかりにくさ」があげられた。

○ その他、本学の管理・運営

「その他、本学の管理・運営に関して、意見要望」という設問に対して、運営に関して、「大学運営の透明化」、「効果的な大学運営」等 7 件、管理に関して、「危機管理体制整備」、「環境対策・省エネ経費節減対策」、「学生の PC 環境改善」等 5 件の意見が出された。組織に関して、「プロパー職員・事務職員の増強」(4 件)、「学科による教員配置数バランスの改善」(2 件)、「教員間の仕事のアンバランス改善」(4 件)、「長時間勤務改善」(6 件)、「校務簡素化、教職員業務分掌の明確化」(5 件)、「給与体系への不満」(3 件)等の意見が出された。また、1 件ではあるが本アンケート様式を応えやすく改善してほしいとの意見があった。

このように、教職員を対象とした自己評価アンケート調査では、多方面にわたり数多くの、しかも具体的な意見が出され、本学教職員の大学運営、管理に対する関心の高さが示された。

4. 卒業生アンケート調査結果

卒業生アンケート調査は、卒業式当日に実施された。調査用紙の配布数 270 部、回収は 179 部、回収率は約 67%であった。回収された調査票のデータを資料 3 に示すとおり、全学、学科別に集計し、その割合を求め、分析した。

卒業生アンケート調査では、本学において受けた教育で身に付いた能力の 10 項目について 4 段階評定による調査を行った。その結果、「豊かな人間性」、「理論的視点からの思考」、「自主的、総合的な判断力」、「学問的な探求能力」、「コミュニケーション能力」、「他者と協働する能力」、「専門的知識・技術」、「地域に貢献する実践力・行動力」の 8 項目で「身に付いたと思う」、「やや身に付いたと思う」を合わせ、80%以上の学生が「身に付いた」と回答した。「グローバルな視点とローカルな視点からの思考」、「リーダーシップ」の 2 項目においても約 70%以上が身に付いたと回答していた。各項目に関しては各学科の教育の特徴による差が若干あったが、総じて、卒業生は本学での教育によって幅広い能力が身に付いたと捉えていた。

また、4 年間の教育全般に関する満足度についても同様に 4 段階評定で「一般教養の充実」、「専門科目の学習に必要な基礎科目の教育の充実」、「専門分野の教育の充実」、「演習・実習の充実」、「人間形成・人格形成のための教育の充実」、「国際交流・留学制度の充実」、「教育施設・設備の充実」、「研究指導の充実」、「就職・進学指導の充実」、「その他学生活動に対する支援の充実」の 10 項目について質問した。その結果、「国際交流・

留学制度の充実」、「教育施設・設備の充実」の 2 項目で「満足している」、「やや満足している」が約 70%であったのみで、その他 8 項目は「満足している」、「やや満足している」を合わせ、学生の約 80%以上が満足していると回答していた。満足度が 70%代であった項目については具体的理由を把握することができなかったが、「国際交流・留学制度の充実」に関しては、現状では交流提携校がアジア系諸国に限定されていること、また制度としても十分なものでないことが要因として考えられる。また、「教育施設・設備の充実」に関しては、在学生の自己評価アンケート調査結果で示された、本学における情報機器に関連した施設・設備等の課題が同様に示されたといえる。

5. 保護者アンケート調査

1) 入学生保護者

入学生の保護者に対して入学式後の各学部・学科での説明会終了後にアンケート調査を実施した。調査用紙配布数 257 部、回収 186 部、回収率 72%であった。回収された調査票のデータを資料 4 に示すとおり、全学、学科別に集計し、その割合を求め、分析した。また、自由記述については別途とりまとめ、分析し、その概要を記述した。

本学の教育や運営に関する期待度について 9 項目、「一般教養の教育の充実」、「専門分野の教育の充実」、「人間形成・人格形成のための教育の充実」、「国際交流・留学生制度の充実」、「教育施設・設備の充実」、「就職・進学指導の充実」、「授業料減免制度の充実」、「大学独自の奨学金制度の充実」、「成績通知の充実」について、4 段階評価により調査した。

その結果、「一般教養の教育の充実」、「専門分野の教育の充実」、「人間形成・人格形成のための教育の充実」、「就職・進学指導の充実」の 4 項目については各項目で約 80~90%が「期待している」と回答し、「教育施設・設備の充実」、「授業料減免制度の充実」、「大学独自の奨学金制度の充実」、「成績通知の充実」の 4 項目で 60~70%が「期待している」と回答した。

一方、「国際交流・留学生制度の充実」に関しては 40%が「期待している」と回答していたが、「わからない」と回答していた割合も約 40%であり、入学時や大学のホームページにおける国際交流・留学生制度に関する情報提供不足が影響しているとも考えられる。

自由記述での回答では、本学に関しての意見要望等について、「成績を保護者に送付して欲しい」(7 件)、「学食を設置して欲しい(看護学科)」(7 件)、「保護者への説明と開示を希望」(5 件)、「入学前後の諸手続き等が分かるように情報提供が欲しい」(4 件)、「安全な生活・学習環境の整備」(4 件)等の要望があり、また、「入学式当日、詳細な説明を受け安心した」(5 件)の意見が出された。

このように、本学での教育及び運営への強い期待とともに、本学からの様々な情報の提供が求められており、入学式終了後の説明会の実施の継続を合わせ、種々の方法による情報提供を行う必要がある。

2) 卒業生保護者

学位授与式の際に配布方法が一括していなかったため、配布数は未定であるが、回収

数は 41 部であった。回収された調査票のデータを資料 5 に示すとおり、全学、学科別に集計し、その割合を求め、分析した。また、自由記述については別途とりまとめ、分析し、その概要を記述した。

保護者を対象に、本学の教育や運営に関する満足度について、「一般教養の充実」、「専門分野の教育の充実」、「人間関係・人格形成のための教育の充実」、「国際交流・留学制度の充実」、「教育施設・設備の充実」、「就職・進学指導の充実」の 6 項目に対して、「満足している」、「わからない」、「満足していない」の 3 段階評定による調査を行った。

その結果、「就職・進学指導の充実」においては 60%が「満足している」と回答していたが、「一般教養の充実」、「専門分野の教育の充実」、「人間関係・人格形成のための教育の充実」の 3 項目においては約 50%弱が「満足している」と回答し、「国際交流・留学制度の充実」、「教育施設・設備の充実」の 2 項目では 20%～30%が「満足している」と回答したのみであった。一方、満足度が高かった「就職・進学指導の充実」以外の項目では「わからない」と回答した割合が 40%～50%という結果であり、この要因として、保護者に対して本学の教育ならびに運営への理解を促すための情報発信が十分でなかったことが考えられる。

自由記述での回答では、「成績表を親元に送付してもらいたい」（5 件）、「保護者の授業への参観」や「大学行事予定に合わせた保護者の参加できる機会がほしい」等の要望があった。

また、「大学側からの連絡物がないので大学の学習の様子が全くわからない」、「大学から保護者に対しての連絡がなさすぎる」、「ホームページでも大学の年間行事に関する事項がのってなく、今、大学で何をされているのか分からない」等、大学の状況把握ができない現状に対しての意見があった。このように、大学からの情報発信とその充実ならびに、保護者も教育支援者として捉え、大学の教育・運営への参画機会を提供する必要性が示唆された。

6. 卒業生就職先訪問調査

卒業生就職先訪問調査は、アンケート調査用紙をもとに、各学科で卒業生の主な就職先への訪問による聞き取り調査を行った。調査対象企業や施設は 21 施設であった。回収された調査票のデータを資料 6 に示すとおりとりまとめ、分析した。また、自由記述については別途とりまとめ、分析し、その概要を記述した。

卒業生就職先関係者を対象に、本学の卒業生の評価について 6 項目、「専門的知識・技術」、「専門的知識・技術を用いた実践力・行動力」、「積極性・主体性」、「人間関係形成(協調性・コミュニケーション・リーダーシップ)」、「豊かな教養」、「探究心・向上心」について 4 段階評定で調査を行った。各項目ともに大半の就職先から「評価できる」、「やや評価できる」との回答が得られた。これらの就職先からは、「意欲もコミュニケーション能力もあり、期待している」、「社会人としてのマナーがしっかり身についている」、「勉強しようという意識が高い」、「新人の中でもリーダーシップがとれる人が多い」、「ほとんどの卒業生は人間的バランスがとれている」等の意見が聞かれ、本学の教育の質向上に関する意見にも「現在の教育の質を維持してほしい」、「社会に出てすぐに適応できる人材を育ててほしい」など本学の教育ならびに人材育成に対する期待や要望があった。

一方、「あまり評価できない」に回答した3か所の就職先からの意見には「学生気分が抜けない」、「実践的な知識や技術は現場で養うことが可能だが、リーダーとして全体をまとめる力を養ってもらいたい」、「体と行動で学ぶ姿勢が足りない」等が出されたが、それぞれが、「その場に行って実感する意欲を育てたい」、「今あるものをよりよくする力を養うようにしてほしい」等の本学への教育への期待が込められており、全く否定的な見解ではなかった。

7. 自己評価アンケート調査にみられる課題

学生、教職員、卒業生、保護者、学生就職先を対象としたアンケート調査および訪問調査の結果を分析することにより、各アンケート調査別に次の課題が示された。今後、これらの課題について、その担当、方策について検討し、できることより改善を進めていく必要がある。

1) 学生自己評価アンケート調査

- ・「大学の目的の周知」、「卒業要件の周知」については、「周知がされてない」と答えた2から3割の学生への周知の方策を検討、実施する。
- ・「スケジュールの改善、分かりやすさ」を求める学生の要望に応え、スケジュール、内容ともに検討を加え、学生に分かりやすいオリエンテーションとなるように進める配慮が必要である。
- ・実習に関わる相談を中心に相談体制の充実、また、「的確な助言が得られない」、「オフィスアワーに不在」等の否定的な意見に対し、どう答えていけるかが課題である。
- ・自主学習環境について、特にPC環境に多くの学生が満足していない状況が明確である。今後、学内配備のPCの台数、使用時間、維持管理について検討し、改善を進めることが課題である。
- ・図書館の開館時間延長への希望が多く、延長の実現に向けての検討が必要である。
- ・施設設備の運用・管理について、半数の学生に周知されてなく、さらに周知の方策が必要である。
- ・飯田、池田キャンパスともに、教室の設備等についての点検が必要である。
- ・池田キャンパスの履修登録方法について、学生がスムーズに登録できる方法となっているか点検が必要である。
- ・キャンパス間移動について、時間割も含め、検討が必要である。
- ・学生による授業評価の公開についての検討、授業へのフィードバックについて学生への説明が必要である。
- ・大学院看護学研究科においては、特に「昼夜開講制度、長期履修制度の導入」、「CNSコースのガイダンス」への要望があり、検討が必要となる。

2) 教職員自己評価アンケート調査

- ・個人の意見を大学の運営に反映する仕組みについて、本学の意見集約の仕組みを周知するとともに、教員、職員ともに意見を大学の運営に反映する仕組みとなっているかについての検討が必要である。

- ・他の教員の活動状況、委員会活動状況を知っているかについて、教員と事務局間の情報交換が必要であることが示唆された。また、学部によっては委員会活動の周知のため、教授会における委員会活動報告についての工夫が必要であることが示唆された。
- ・FD・SD活動に関して、教員からは「専門に関する研修」、「ICT、PC研修、統計処理研修」、「研究能力のスキルアップ」等の要望が出され、事務局からはファシリテーションをはじめとする研修の要望が多い。また、教員から「教育力向上のための研修」への要望があるとともに、「小規模の勉強会実施」、「FD参加率の向上、全員参加」、「回数」、「時期、時間」等について意見が出されており、FDの方法、回数、時期、開催時刻について検討する必要があることが示された。
- ・施設、設備について、特に教室に関して「教室数」、「教室の視聴覚機器（プロジェクター等）の整備」、「教室内備品の整備」等の要望があり、今後、これへの対応について詳細に検討する必要があることが示された。

3) 卒業生アンケート調査

- ・「国際交流・留学制度の充実」、「教育施設・設備の充実」について、満足度70%であり、ほかの項目と比較して低迷しており、国際交流・留学制度について、交流提携校の充実等の方策を検討、実施する必要がある。また、在学生のアンケート調査結果とも合わせて、施設、設備の改善の方策を実施する必要がある。

4) 保護者アンケート調査（入学時、卒業時）

- ・入学生の保護者からは本学への期待の大きさが感じられた。特に自由記述において「成績送付」、「学食（看護学部）」、「情報提供」、「安全な生活・学習環境の整備」等の意見が出され、また「入学時の説明」について評価されており、本学から保護者に対しての情報提供の必要性が顕著であった。
- ・卒業生の保護者についてみると、「国際交流・留学制度の充実」、「教育施設・設備の充実」の2項目の評価が極めて低く、今後の改善への取り組みが必要である。自由記述において、「成績送付」をはじめ「大学行事への保護者参加」、「授業参観」、「ホームページ等での情報提供」が求められており、入学生保護者の意見と合わせて、改善する必要がある。

5) 卒業生就職先訪問調査

- ・「学生気分からの脱却」、「リーダーシップ」、「体と行動で学ぶ姿勢」、「意欲・向上心」等について本学の教育への期待が示された。少数の意見ではあるが、今後の教育のなかで、どう実現していくかについて今後考えていく必要があることが示唆された。

8. まとめ

平成21年度自己評価アンケート調査は、山梨県立大学開学5年目、平成22年度から公立大学法人化が予定される中で、今後の本学の運営の参考とするために実施された。

調査対象は、「在校生」、「卒業生」、「卒業生及び入学生の保護者」、「教職員」とし、調査時期は平成21年1月から3月、一部4月初旬であった。調査の方法は集団調査、留め

置き調査の併用とし、卒業生の就職先については訪問調査とした。調査項目については、平成 22 年度実施分「大学評価基準及び選択的評価事項の分析に当たっての留意点等について」に基づき、自己評価専門委員会において、検討、決定した。調査結果については、学部、学科、所属等別に集計後、資料 1 から 6 のとおり取りまとめ、分析を行った。自由記述についても分析を行い、その概要を本報告書に記述した。

これらの分析の結果、本アンケート調査の対象別に導きされた課題が示された。今後、各部局、各委員会において、これらの課題について検討をすすめ、できるところより改善の方策を策定し、改善していく必要がある。

最後に、本アンケート調査を実施した自己評価委員会として、これらの課題の中より、平成 22 年度においては、次の事項を本学の運営における改善の重点項目とし、それぞれの担当により改善をすすめることを提案し、まとめとしたい。

- ・大学の目的等の周知について、現状を維持し、すでに計画されている「大学憲章の制定」等を含め、さらに推進する。
- ・自主学習環境について、情報委員会と事務局との連携により学内配備の PC 台数、使用時間、維持管理についての改善の方策を検討し、改善を進める。
- ・図書館の開館時間延長について、改善の方策を検討し、改善をすすめる。
- ・施設設備の運用・管理について、事務局総務課において、オリエンテーション時の説明、掲示、ホームページ掲載等、学生への周知に努める。
- ・個人の意見を大学の運営に反映する仕組みについて、教職員への周知に努める。
- ・委員会活動について、教職員間の情報共有を図る方策を検討し、実施する。
- ・国際交流委員会を中心に、国際交流・留学制度について、交流提携校の充実等の改善の方策を検討し、実施する。
- ・保護者への「成績情報の提供」、「本学の教育活動内容等の情報提供」について、それぞれの担当である教育委員会、広報委員会において検討し、必要な対応策を実施する。

資料1-1 学生自己評価アンケート調査結果

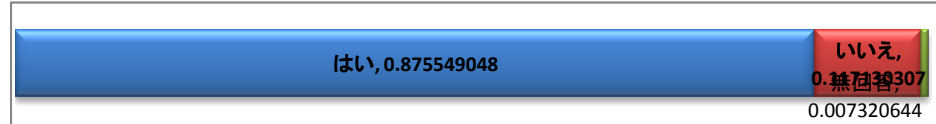
人(%)

		総合政策 学科	国際コミュ ニケーション学科	福祉コミュ ニティー 学科	人間福祉 学科	看護学科	全学科
●大学の目的等について							
1. 大学の目的について、 大学シラバス・HP等で今 までに読んだことがありますか。	はい いいえ 無回答	60(90.9%) 6(9.1%) 0	136(89.5%) 15(9.9%) 1(0.7%)	157(87.7%) 20(11.2%) 1(0.6%)	67(90.5%) 6(8.1%) 1(1.4%)	178(84.0%) 33(15.6%) 2(0.9%)	598(87.6%) 80(11.7%) 5(0.7%)
2. 卒業要件について知っ ていますか。	はい いいえ 無回答	52(78.8%) 13(19.7%) 1(1.5%)	139(91.4%) 12(7.9%) 1(0.7%)	146(81.6%) 32(17.9%) 0	58(78.4%) 16(21.6%) 0	132(62.3%) 79(37.3%) 2(0.9%)	527(77.2%) 152(22.3%) 4(0.6%)
3. 成績評価が適切に行わ れていると思いますか。	はい いいえ 無回答	45(68.2%) 19(28.8%) 2(3.0%)	119(78.3%) 29(19.1%) 4(2.6%)	154(86.0%) 23(12.8%) 1(0.6%)	65(87.8%) 8(10.8%) 1(1.4%)	183(86.3%) 27(12.7%) 3(1.4%)	566(82.9%) 106(15.5%) 11(1.6%)
●オリエンテーションやガイダンスについて							
4. 学年当初に実施される オリエンテーションやガイ ダンスは、あなたの履修に 役立ちましたか。	そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない 無回答	33(50.0%) 24(36.4%) 8(12.1%) 1(1.5%) 0	78(51.3%) 50(32.9%) 21(13.8%) 1(0.7%) 2(1.3%)	97(54.2%) 70(39.1%) 10(5.6%) 1(0.6%) 0	46(62.2%) 25(33.8%) 2(2.7%) 0 1(1.4%)	99(46.7%) 103(48.6%) 11(5.2%) 0 0	353(51.7%) 272(39.8%) 52(7.6%) 3(0.4%) 3(0.4%)
●学習支援について							
6. 学習を進める上で担任 やチューター教員、科目教 員からの相談が必要とな きに得られたと思います か。	そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない 無回答	18(27.3%) 31(47.0%) 13(19.7%) 4(6.1%) 0	30(19.7%) 81(53.3%) 38(25.0%) 1(0.7%) 2(1.3%)	42(23.5%) 89(49.7%) 41(22.9%) 3(1.7%) 3(1.7%)	16(21.6%) 52(70.3%) 5(6.8%) 1(1.4%) 0	53(25.0%) 119(56.1%) 38(17.9%) 3(1.4%) 0	159(23.3%) 372(54.5%) 135(19.8%) 12(1.8%) 5(0.7%)
●自主学習について							
8. 自主学習のスペースは 十分だと思いますか。	そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない 無回答	7(10.6%) 21(31.8%) 23(34.8%) 15(22.7%) 0	13(8.6%) 40(26.3%) 74(48.7%) 25(16.4%) 0	18(10.1%) 48(26.8%) 80(44.7%) 31(17.3%) 1(0.6%)	13(17.6%) 20(27.0%) 33(44.6%) 7(9.5%) 1(1.4%)	28(13.2%) 84(39.6%) 77(36.3%) 24(11.3%) 0	79(11.6%) 213(31.2%) 287(42.0%) 102(14.9%) 2(0.3%)
9. コンピュータの利用環 境に満足していますか。	そう思う ややそう思う あまりそう思わない 無回答	5(7.6%) 10(15.2%) 24(36.4%) 0	4(2.6%) 37(24.3%) 66(43.4%) 0	9(5.0%) 37(20.7%) 81(45.3%) 0	4(5.4%) 21(28.4%) 29(39.2%) 0	9(4.2%) 74(34.9%) 92(43.4%) 0	31(4.5%) 179(26.2%) 292(42.8%) 0
●生活支援について							
11. 生活支援(健康・生活・ 進路・各種ハラスメント)等 に関する学生相談助言の 体制が充実していると思 いますか。	そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない 無回答	20(30.3%) 34(51.5%) 8(12.1%) 3(4.5%) 1(1.5%)	39(25.7%) 80(53.6%) 26(17.1%) 5(3.3%) 2(1.3%)	38(21.2%) 105(58.7%) 32(17.9%) 0 3(1.7%)	17(23.0%) 50(67.6%) 7(9.5%) 0 0	49(23.1%) 122(57.5%) 39(18.4%) 1(0.5%) 2(0.9%)	163(23.9%) 391(57.2%) 112(16.4%) 9(1.3%) 8(1.2%)
●施設設備について							
12. あなたは学生便覧、各 種施設、設備の利用案内 等を通して本学の施設・設 備の運用・管理について 知っていますか。	知っている やや知っている あまり知らない 知らない 無回答	11(16.7%) 17(25.8%) 30(45.5%) 8(12.1%) 0	9(5.9%) 65(42.8%) 63(41.4%) 15(9.9%) 0	18(10.1%) 80(44.7%) 65(36.3%) 12(6.7%) 3(1.7%)	5(6.8%) 31(41.9%) 30(40.5%) 8(10.8%) 0	29(13.7%) 90(42.5%) 79(37.3%) 14(6.6%) 1(0.5%)	72(10.5%) 283(41.4%) 267(39.1%) 57(8.3%) 4(0.6%)
各質問項目合計(人)		66	152	179	74	212	683

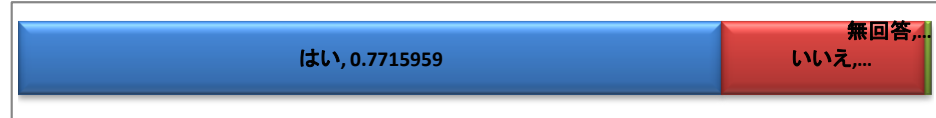
資料1-2 学生自己評価アンケート調査結果

(全学科)

1. 大学の目的について、大学シラバス・HP等で今までに読んだことがありますか。



2. 卒業要件について知っていますか。



3. 成績評価が適切に行われていると思いますか。



4. 学年当初に実施されるオリエンテーションやガイダンスは、あなたの履修に役立ちましたか。



6. 学習を進める上で担任やチューター教員、科目教員からの相談が必要なときに得られたと思いますか。



8. 自主学習のスペースは十分だと思いますか。



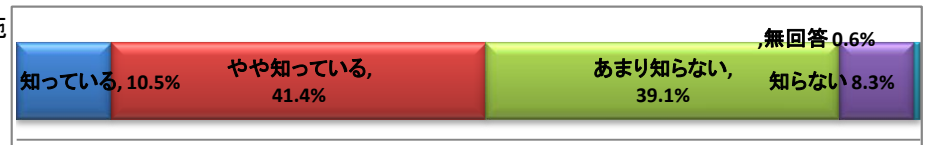
9. コンピューターの利用環境に満足していますか。



11. 生活支援(健康・生活・進路・各種ハラスメント)等に関する学生相談助言の体制が充実していると思いますか



12. あなたは学生便覧、各種施設、設備の利用案内等を通して本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。

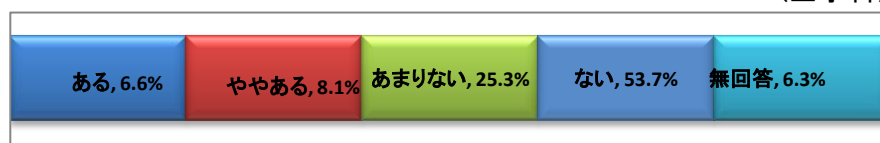


資料1-3 学生自己評価アンケート調査結果
国際政策学部、人間福祉学部大学院設置について

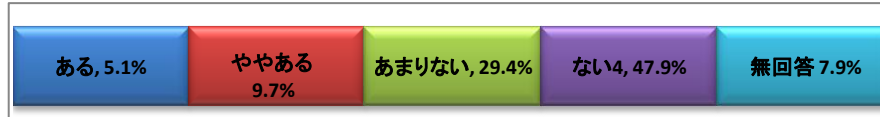
		総合政策 学科	国際コミュ ニケーション 学科	福祉コミュ ニティー 学科	人間形成 学科	看護学科	全学科
●国際政策学部・人間福祉学部で進められている大学院設置について							
14.国際政策学部系の大学院の進学に関心はありますか。	ある	13(19.7%)	26(17.1%)	5(2.8%)	1(1.4%)	0	45(6.6%)
	ややある	7(10.6%)	33(21.7%)	9(5.0%)	5(6.8%)	1(0.5%)	55(8.1%)
	あまりない	22(33.3%)	46(30.3%)	4(2.9%)	15(20.3%)	49(23.1%)	173(25.3%)
	ない	24(36.4%)	46(30.3%)	108(60.3%)	49(66.2%)	140(66.0%)	367(53.7%)
	無回答	0	1(0.7%)	15(8.4%)	4(5.4%)	23(10.8%)	43(6.3%)
15.人間福祉学部系大学院への進学に関心はありますか。	ある	1(1.5%)	3(2.0%)	24(13.4%)	7(9.5%)	0	35(5.1%)
	ややある	1(1.5%)	9(5.9%)	36(20.1%)	16(21.6%)	4(1.9%)	66(9.7%)
	あまりない	21(31.8%)	33(21.7%)	68(38.0%)	29(39.2%)	50(23.6%)	201(29.4%)
	ない	37(56.1%)	87(57.2%)	47(26.3%)	218(28.4%)	135(63.7%)	327(47.9%)
	無回答	6(9.1%)	20(13.2%)	4(2.2%)	1(1.4%)	23(10.8%)	54(7.9%)
合計(人)		66	152	179	74	212	683

(全学科)

14.国際政策学部系の大学院の進学に関心はありますか。



15.人間福祉学部系大学院への進学に関心はありますか。



資料2-1 教職員自己評価アンケート調査結果

人(%)

	回答 部	学	国際政策学 部	人間福祉学 部	看護学部	事務局	全教職員
1. 大学の目的について、大学案内・シラバス・HP等で学んだことがありますか。	はい		23(95.8%)	22(100%)	35(97.2%)	23(92.0%)	103(96.3%)
	いいえ		0	0	1(2.8%)	2(8.0%)	3(2.8%)
	無回答		1(4.2%)	0	0	0	1(0.9%)
2. あなたは学生便覧、各施設・設備の利用案内を通して、本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。	はい		17(70.8%)	21(95.5%)	33(91.7%)	22(88.0%)	93(86.9%)
	いいえ		6(25.0%)	1(4.5%)	3(8.3%)	3(12.0%)	13(12.1%)
	無回答		1(4.2%)	0	0	0	1(0.9%)
3. 個人の意見を大学の運営に反映させる仕組みがあると思いますか。	はい		13(54.2%)	14(63.6%)	23(63.9%)	9(36.0%)	59(55.1%)
	いいえ		10(41.7%)	7(31.3%)	11(30.6%)	13(52.0%)	41(38.3%)
	無回答		1(4.2%)	1(4.5%)	2(5.6%)	3(12.0%)	7(6.5%)
4. 学部運営に関する個人の意見を会議等で出せていると思いますか。(教員に限る)	はい		15(62.5%)	18(81.8%)	15(41.7%)	0	48(44.9%)
	いいえ		8(33.3%)	4(18.2%)	18(50.0%)	0	30(28.0%)
	無回答		1(4.2%)	0	3(8.3%)	25(100%)	29(27.1%)
5. 他の教職員の活動状況を知る機会がありますか。	はい		14(58.3%)	14(63.6%)	19(52.8%)	10(40.0%)	57(53.3%)
	いいえ		9(37.5%)	8(36.4%)	17(47.2%)	15(60.0%)	49(45.8%)
	無回答		1(4.2%)	0	0	0	1(0.9%)
6. 他の委員会の活動状況を知る機会がありますか。	はい		13(54.2%)	12(54.5%)	25(69.4%)	7(28.0%)	57(53.3%)
	いいえ		10(41.7%)	10(45.5%)	10(27.8%)	18(72.0%)	48(44.9%)
	無回答		1(4.2%)	0	1(2.8%)	0	2(1.9%)
7. 22年度入試に関してアドミッションポリシーに沿った入試を実施していると思いますか。	そう思う		11(45.8%)	15(68.2%)	14(38.9%)	4(16.0%)	44(41.1%)
	ややそう思う		11(45.8%)	6(27.3%)	14(38.9%)	9(36.0%)	40(37.4%)
	あまりそう思わない		0	1(4.5%)	3(8.3%)	4(16.0%)	8(7.5%)
	そう思わない		1(4.2%)	0	2(5.6%)	2(8.0%)	5(4.7%)
	無回答		1(4.2%)	0	3(8.3%)	6(24.0%)	10(9.3%)
人数			24	22	36	25	107

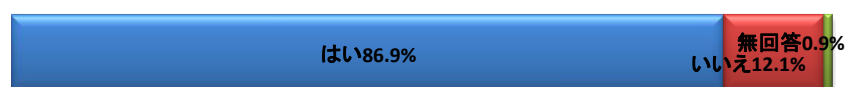
資料2-2 教職員自己評価アンケート調査結果

(全教職員)

1. 大学の目的について、大学案内・シラバス・HP等で学んだことがありますか。



2. あなたは学生便覧、各施設・設備の利用案内を通して、本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。



3. 個人の意見を大学の運営に反映させる仕組みがあると思いますか。



4. 学部運営に関する個人の意見を会議等で出せていると思いますか。(教員に限る)



5. 他の教職員の活動状況を知る機会がありますか。



6. 他の委員会の活動状況を知る機会がありますか。



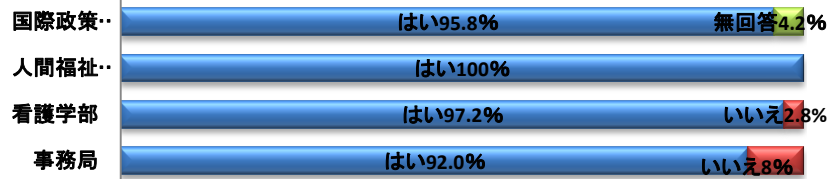
7. 22年度入試に関してアドミッションポリシーに沿った入試を実施していると思いますか。



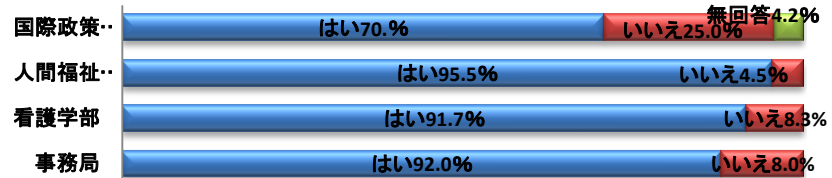
資料2-3 教職員自己評価アンケート調査結果

(所属別)

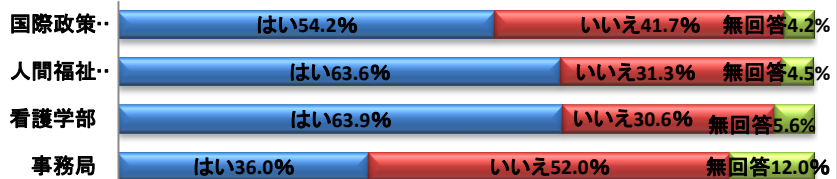
1. 大学の目的について、大学案内・シラバス・HP等で学んだことがありますか。



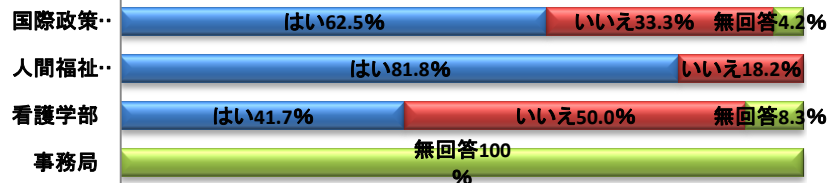
2. あなたは学生便覧、各施設・設備の利用案内を通して、大学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。



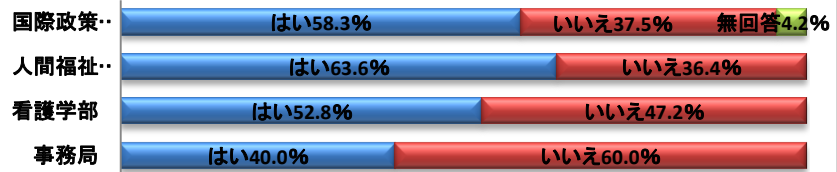
3. 個人の意見を大学の運営に反映させる仕組みがあると思いますか。



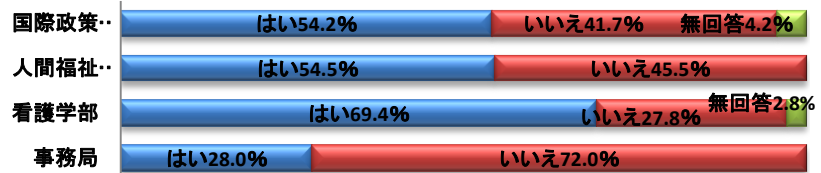
4. 学部運営に関する個人の意見を会議等で出せていると思いますか。(教員に限る)



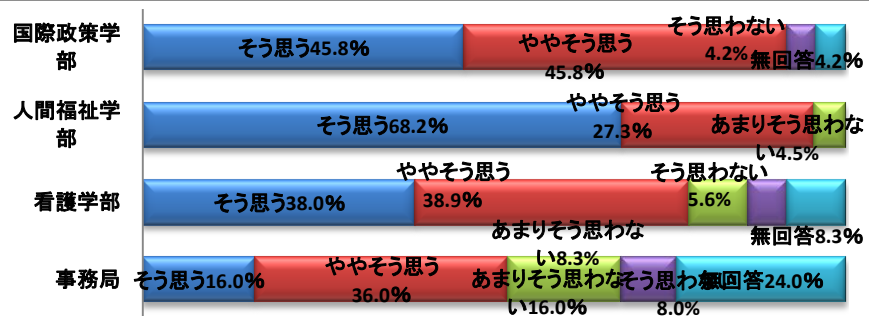
5. 他の教職員の活動状況を知る機会がありますか。



6. 他の委員会の活動状況を知る機会がありますか。



7. 22年度入試に関してアドミッションポリシーに沿った入試を実施していると思いますか。



資料3-1 卒業生アンケート調査結果

I あなたは4年間の山梨県立大学で受けた教育から、以下の点についてどのくらい学習できたか、あるいは、身に付いたと思いますか。

		総合政策学 科	国際コミュニ ケーション 学科	福祉コミュニ ティ学科	人間形成学 科	看護学科	全学科
1.豊かな人間性	そう思う	7(43.8%)	7(43.8%)	13(31.0%)	6(37.5%)	35(39.3%)	68(38.0%)
	ややそう思う	9(56.3%)	9(56.3%)	28(66.7%)	8(50.0%)	51(57.3%)	105(58.7%)
	あまりそう思わない	0	0	1(2.4%)	2(12.5%)	2(2.2%)	5(2.8%)
	そう思わない	0	0	0	0	1(1.1%)	1(0.6%)
	無回答	0	0	0	0	0	0
2.倫理的視点からの 思考	そう思う	1(6.3%)	4(25.0%)	4(9.5%)	1(6.3%)	37(41.6%)	47(36.3%)
	ややそう思う	13(81.3%)	8(50.0%)	27(64.3%)	10(62.5%)	4(49.4%)	102(57.0%)
	あまりそう思わない	2(12.5%)	3(18.8%)	11(26.2%)	5(31.3%)	6(6.7%)	27(15.1%)
	そう思わない	0	1(6.3%)	0	0	1(1.1%)	2(1.1%)
	無回答	0	0	0	0	1(1.1%)	1(0.6%)
3.自主的、総合的な 判断力	そう思う	5(31.3%)	6(37.5%)	7(16.7%)	4(25.0%)	37(41.6%)	59(33.0%)
	ややそう思う	7(43.8%)	9(56.3%)	27(64.3%)	6(37.5%)	46(51.7%)	95(53.1%)
	あまりそう思わない	3(18.8%)	1(6.3%)	8(19.0%)	6(37.5%)	3(3.4%)	21(11.7%)
	そう思わない	1(6.3%)	0	0	0	1(1.1%)	2(1.1%)
	無回答	0	0	0	0	2(2.2%)	2(1.1%)
4.グローバルな視点と ローカルな視点から の思考	そう思う	2(12.5%)	6(37.5%)	5(11.9%)	3(18.8%)	6(6.7%)	22(12.3%)
	ややそう思う	10(62.5%)	9(56.3%)	16(38.1%)	8(50.0%)	44(49.4%)	87(48.6%)
	あまりそう思わない	2(12.5%)	0	20(47.6%)	4(25.0%)	33(37.1%)	59(33.0%)
	そう思わない	1(6.3%)	1(6.3%)	1(2.4%)	1(6.3%)	3(3.4%)	7(3.9%)
	無回答	1(6.3%)	0	0	0	2(2.2%)	3(1.7%)
5.学問的な探求能力	そう思う	3(18.8%)	2(12.5%)	3(7.1%)	3(18.8%)	24(27.0%)	35(19.6%)
	ややそう思う	5(31.3%)	11(68.8%)	31(73.8%)	8(50.0%)	52(58.4%)	107(59.8%)
	あまりそう思わない	6(37.5%)	1(6.3%)	8(19.0%)	5(31.3%)	11(12.4%)	31(17.3%)
	そう思わない	2(12.5%)	2(12.5%)	0	0	2(2.2%)	6(3.4%)
	無回答	0	0	0	0	3(3.4%)	3(1.7%)
6.コミュニケーション能 力	そう思う	7(43.8%)	6(37.5%)	15(35.7%)	9(56.3%)	65(73.0%)	102(57.0%)
	ややそう思う	4(25.0%)	10(62.5%)	25(59.5%)	4(25.0%)	21(23.6%)	64(35.8%)
	あまりそう思わない	5(31.3%)	0	2(4.8%)	2(12.5%)	2(2.2%)	11(6.1%)
	そう思わない	0	0	0	1(6.3%)	1(1.1%)	2(1.1%)
	無回答	0	0	0	0	0	0
7.他者と協働する能 力	そう思う	8(50.0%)	6(37.5%)	17(40.5%)	9(56.3%)	68(76.4%)	108(60.3%)
	ややそう思う	6(37.5%)	8(50.0%)	23(54.8%)	6(37.5%)	19(21.3%)	62(34.6%)
	あまりそう思わない	2(12.5%)	2(12.5%)	2(4.8%)	0	1(1.1%)	7(3.9%)
	そう思わない	0	0	0	1(6.3%)	1(1.1%)	2(1.1%)
	無回答	0	0	0	0	0	0
8.リーダーシップ	そう思う	2(12.5%)	4(25.0%)	3(7.1%)	3(18.8%)	23(25.8%)	35(19.6%)
	ややそう思う	7(43.8%)	6(37.5%)	24(57.1%)	7(43.8%)	54(60.7%)	98(54.7%)
	あまりそう思わない	7(43.8%)	6(37.5%)	13(31.0%)	6(37.5%)	10(11.2%)	42(23.5%)
	そう思わない	0	0	2(4.8%)	0	4(4.5%)	6(3.4%)
	無回答	0	0	0	0	0	0
9.専門的知識・技術	そう思う	2(12.5%)	1(6.3%)	16(38.1%)	9(56.3%)	68(76.4%)	96(53.6%)
	ややそう思う	5(31.3%)	9(56.3%)	25(59.5%)	6(37.5%)	20(22.5%)	65(36.3%)
	あまりそう思わない	6(37.5%)	4(25.0%)	1(2.4%)	0	0	11(6.1%)
	そう思わない	3(18.8%)	2(12.5%)	0	1(6.3%)	1(1.1%)	7(3.9%)
	無回答	0	0	0	0	0	0
10.地域に貢献する 実践力・行動力	そう思う	4(25.0%)	5(31.3%)	6(14.3%)	5(31.3%)	36(40.4%)	56(31.3%)
	ややそう思う	8(50.0%)	8(50.0%)	28(66.7%)	8(50.0%)	46(51.7%)	98(54.7%)
	あまりそう思わない	2(12.5%)	2(12.5%)	8(19.0%)	3(18.8%)	5(5.6%)	20(11.2%)
	そう思わない	2(12.5%)	1(6.3%)	0	0	1(1.1%)	4(2.2%)
	無回答	0	0	0	0	1(1.1%)	1(0.6%)
人数		16	16	42	16	89	179

Ⅱ あなたは4年間の教育全体を通してどのように感じていますか。次の視点からお答えください。

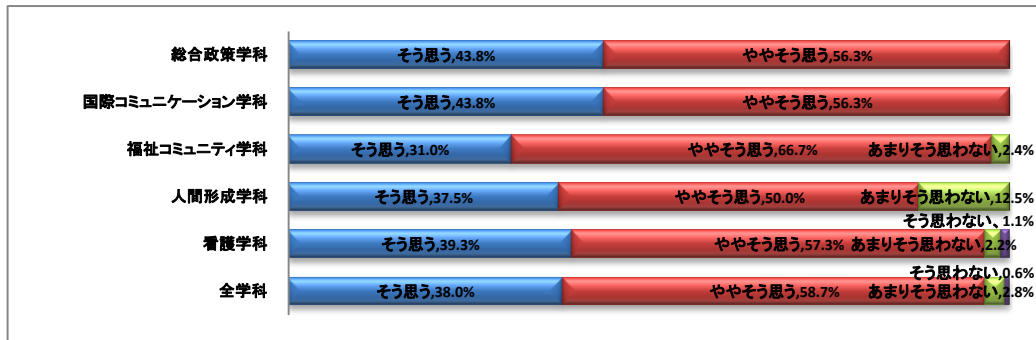
		総合政策学 科	国際コミュニ ケーション 学科	福祉コミュニ ティ学科	人間形成学 科	看護学科	全学科
1.一般教養(教養)の 充実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	0 9(56.3%) 5(31.3%) 2(12.5%) 0	2(12.5%) 12(75.0%) 1(6.3%) 1(6.3%) 0	8(19.0%) 27(64.3%) 7(16.7%) 0 0	3(18.8%) 9(56.3%) 4(25.0%) 0 0	16(18.0%) 54(60.7%) 19(21.3%) 0 0	29(16.2%) 111(62.0%) 36(20.1%) 3(1.7%) 0
2.専門科目の学習に 必要な 基礎科目の 教育の充実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	1(6.3%) 8(50.0%) 5(31.3%) 2(12.5%) 0	1(6.3%) 9(56.3%) 5(31.3%) 1(6.3%) 0	10(23.8%) 25(59.5%) 7(16.7%) 0 0	7(43.8%) 6(37.5%) 3(18.8%) 0 0	55(61.6%) 30(33.7%) 3(3.4%) 1(1.1%) 0	74(41.3%) 78(43.6%) 23(12.8%) 4(2.2%) 0
3.専門分野の教育の 充実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	0 5(31.3%) 7(43.8%) 4(25.0%) 0	1(6.3%) 6(37.5%) 8(50.0%) 1(6.3%) 0	12(28.6%) 23(54.8%) 7(16.7%) 0 0	7(43.8%) 6(37.5%) 3(18.8%) 0 0	58(65.2%) 27(30.3%) 3(3.4%) 1(1.1%) 0	78(43.6%) 67(37.4%) 28(14.6%) 6(3.4%) 0
4.演習・実習の充実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	1(6.3%) 8(50.0%) 4(25.0%) 3(18.8%) 0	2(12.5%) 11(68.8%) 1(6.3%) 1(6.3%) 1(6.3%)	13(31.0%) 20(47.6%) 9(21.4%) 0 0	8(50.0%) 4(25.0%) 3(18.8%) 1(6.3%) 0	58(65.2%) 29(32.6%) 1(1.1%) 1(1.1%) 0	82(45.8%) 72(40.2%) 18(10.1%) 6(3.4%) 1(0.6%)
5.人間関係形成・人格 形成のための教育の 充実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	2(12.5%) 8(50.0%) 4(25.0%) 2(12.5%) 0	3(18.8%) 8(50.0%) 3(18.8%) 2(12.5%) 0	8(19.0%) 25(59.5%) 9(21.4%) 0 0	6(37.5%) 10(62.5%) 0 0 0	36(40.4%) 45(50.6%) 6(6.7%) 2(2.2%) 0	55(30.7%) 96(63.6%) 22(12.3%) 6(3.4%) 0
6.国際交流・留学制度 の充実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	0 9(56.3%) 5(31.3%) 2(12.5%) 0	3(18.8%) 6(37.5%) 4(25.0%) 3(18.8%) 0	4(9.5%) 17(40.5%) 19(45.2%) 2(4.8%) 0	1(6.3%) 9(56.3%) 5(31.3%) 0 1(6.3%)	9(10.1%) 27(30.3%) 42(47.2%) 11(12.4%) 0	17(9.5%) 68(38.0%) 75(41.9%) 18(10.1%) 1(0.6%)
7.教育施設・設備の充 実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	0 7(43.8%) 7(43.8%) 2(12.5%) 0	2(12.5%) 6(37.5%) 5(31.3%) 3(18.8%) 0	7(16.7%) 17(40.5%) 14(33.3%) 4(9.5%) 0	2(12.5%) 7(43.8%) 6(37.5%) 1(6.3%) 0	22(24.7%) 50(56.2%) 13(14.6%) 4(4.5%) 0	33(18.4%) 87(48.6%) 45(25.1%) 14(7.8%) 0
8.研究指導の充実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	3(18.8%) 7(43.8%) 4(25.0%) 2(12.5%) 0	4(25.0%) 10(62.5%) 1(6.3%) 1(6.3%) 0	6(14.3%) 22(52.4%) 13(31.0%) 1(2.4%) 0	6(37.5%) 5(31.3%) 4(25.0%) 0 1(6.3%)	47(52.8%) 34(38.2%) 5(5.6%) 3(3.4%) 0	66(36.9%) 78(43.6%) 27(15.1%) 7(3.9%) 1(0.6%)
9. 就職・進学指導の 充実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	4(25.0%) 6(37.5%) 3(18.8%) 3(18.8%) 0	6(37.5%) 5(31.3%) 3(18.8%) 2(12.5%) 0	16(38.1%) 18(42.9%) 7(16.7%) 1(2.4%) 0	6(37.5%) 8(50.0%) 2(12.5%) 0 0	21(23.6%) 54(60.7%) 12(13.5%) 1(1.1%) 1(1.1%)	53(29.6%) 91(50.8%) 27(15.1%) 7(3.9%) 1(0.6%)
10. その他学生諸活 動に対する支援の充 実	満足している やや満足している あまり満足していない 満足していない 無回答	3(18.8%) 7(43.8%) 5(31.3%) 1(6.3%) 0	3(18.8%) 9(56.3%) 2(12.5%) 1(6.3%) 1(6.3%)	10(23.8%) 20(47.6%) 10(23.8%) 0 2(4.8%)	4(25.0%) 9(56.3%) 1(6.3%) 2(12.5%) 0	20(22.5%) 52(58.4%) 15(16.9%) 0 2(2.2%)	40(22.3%) 97(54.2%) 33(18.4%) 4(2.2%) 5(2.8%)
人数		16	16	42	16	89	179

資料3-2 卒業生アンケート調査結果

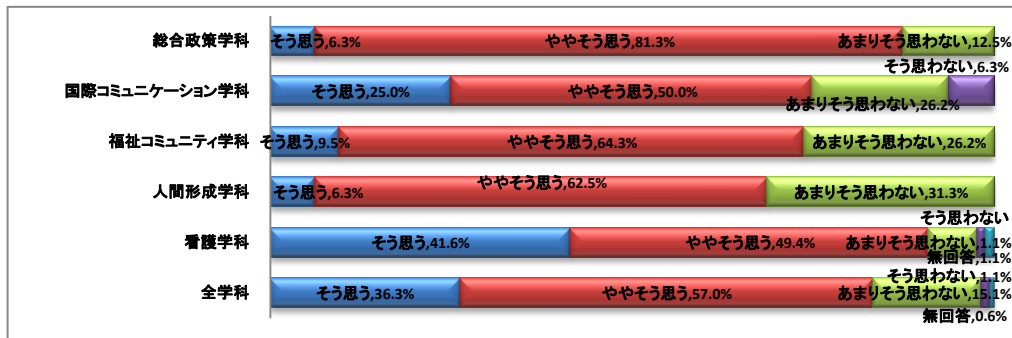
I あなたは4年間の山梨県立大学で受けた教育から、以下の点についてどのくらい学習できたか、あるいは、身に付いたと思いますか。

(学科別・全学科)

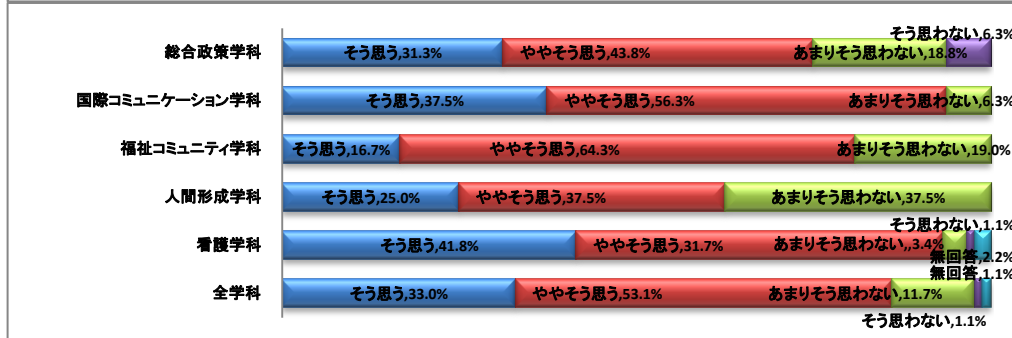
1.豊かな人間性



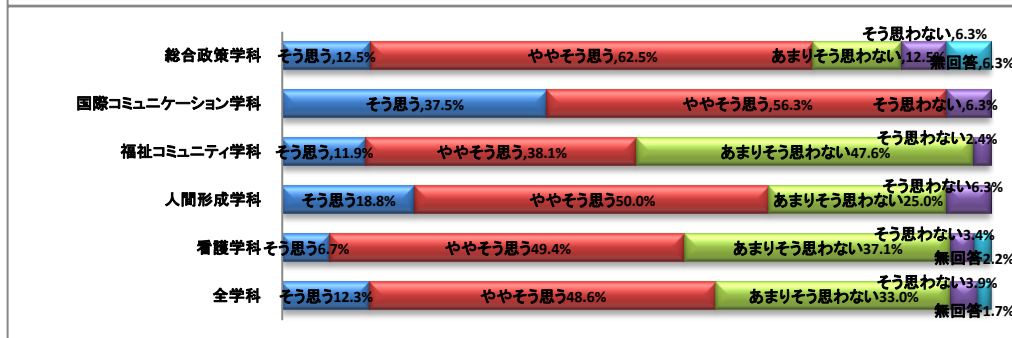
2.理論的視点からの思考



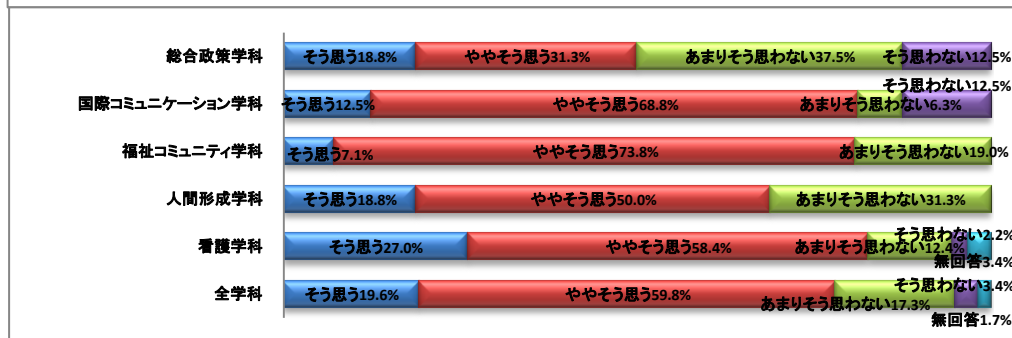
3.自主的、総合的判断能力



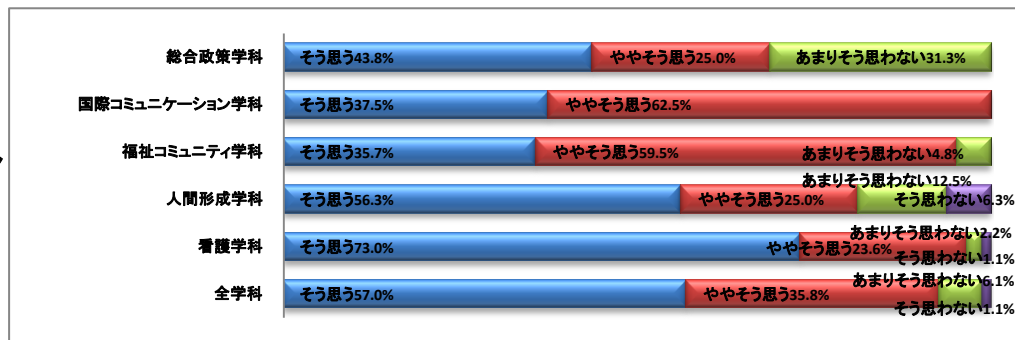
4.グローバルな視点とローカルな視点からの思考



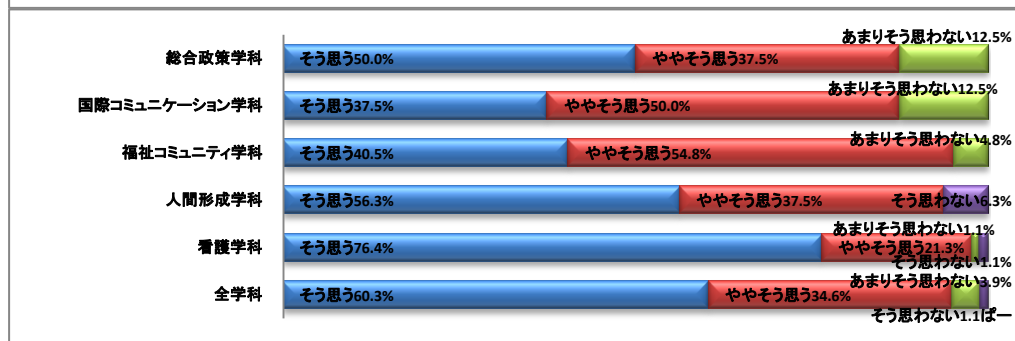
5.学問的探求能力



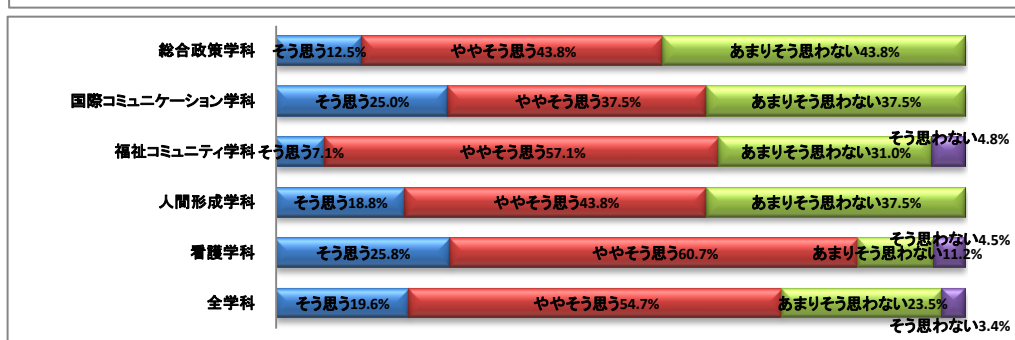
6.コミュニケーション能力



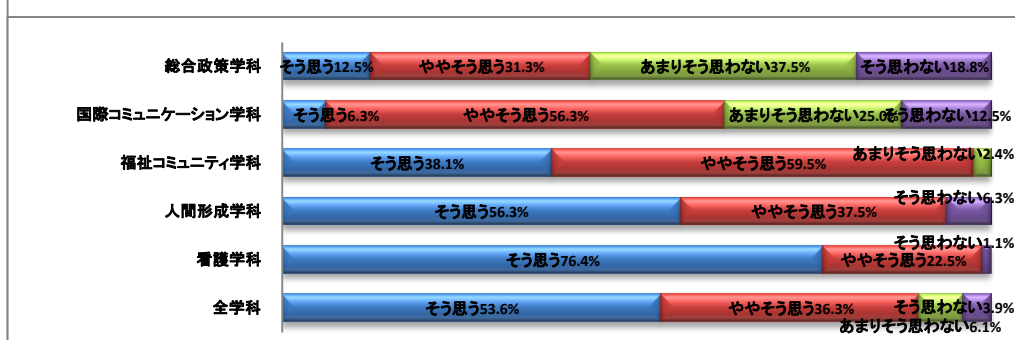
7.他者と協働する能力



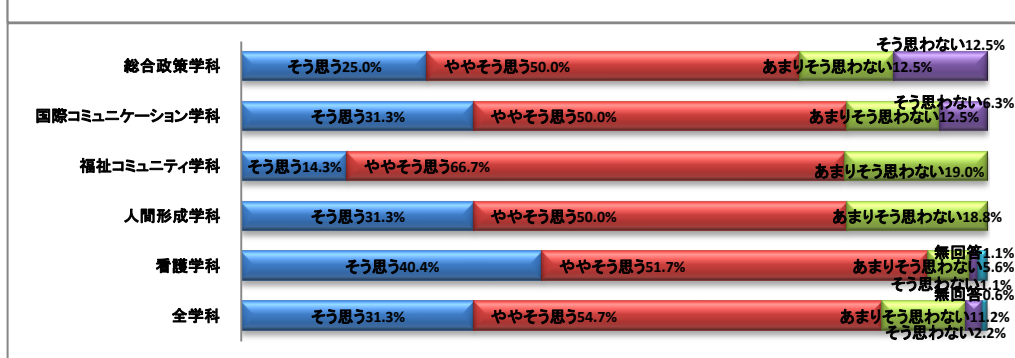
8.リーダーシップ



9.専門的知識・技術

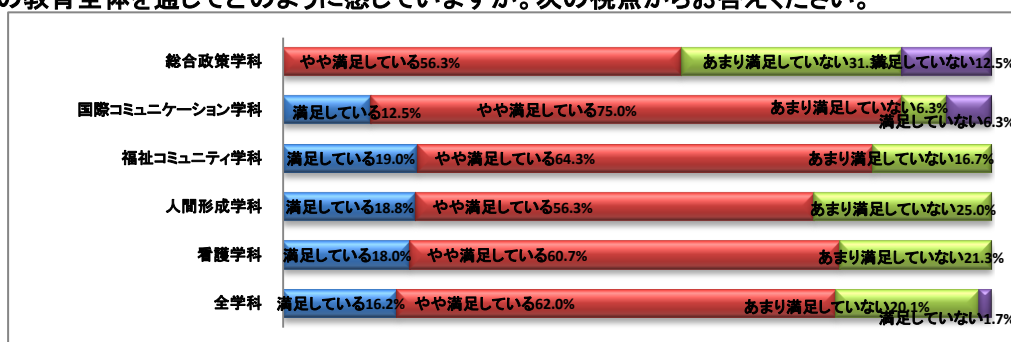


10.地域に貢献する実践力・行動力

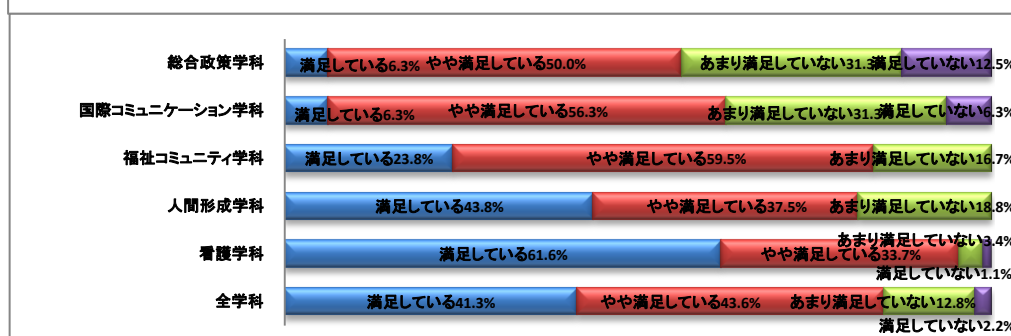


Ⅱ あなたは4年間の教育全体を通してどのように感じていますか。次の視点からお答えください。

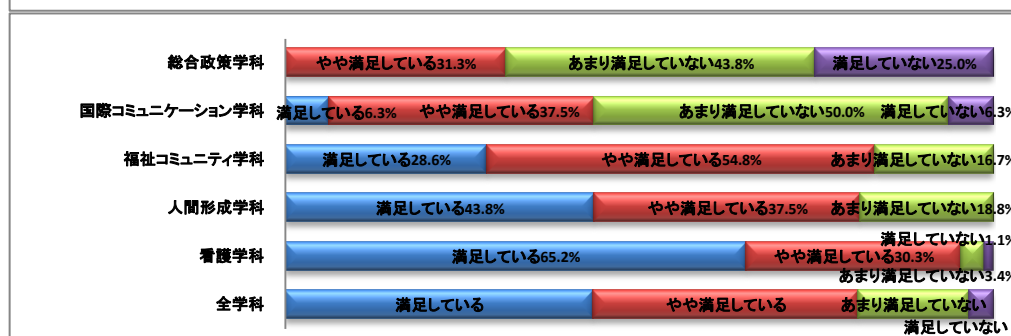
1.一般教養(教養)の充実



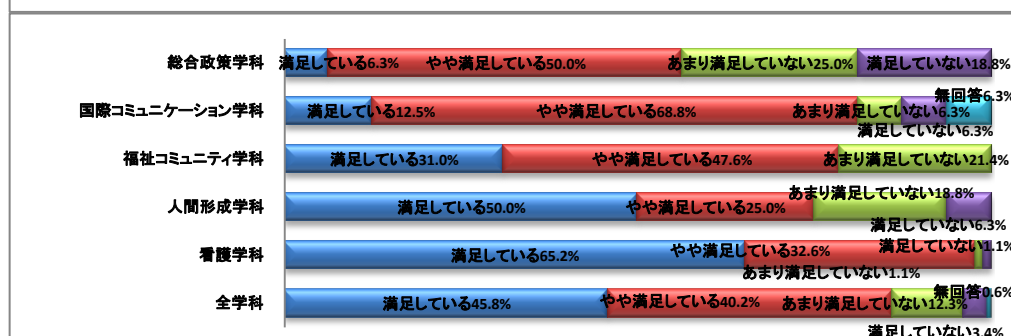
2.専門科目の学習に必要な基礎科目の教育の充実



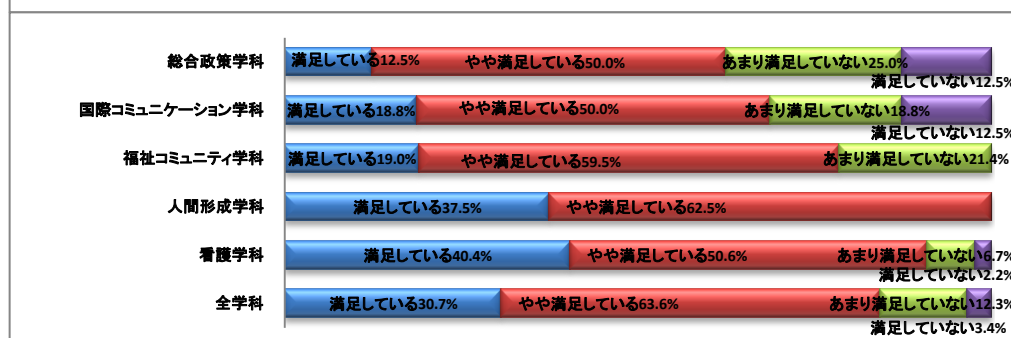
3.専門分野の教育の充実



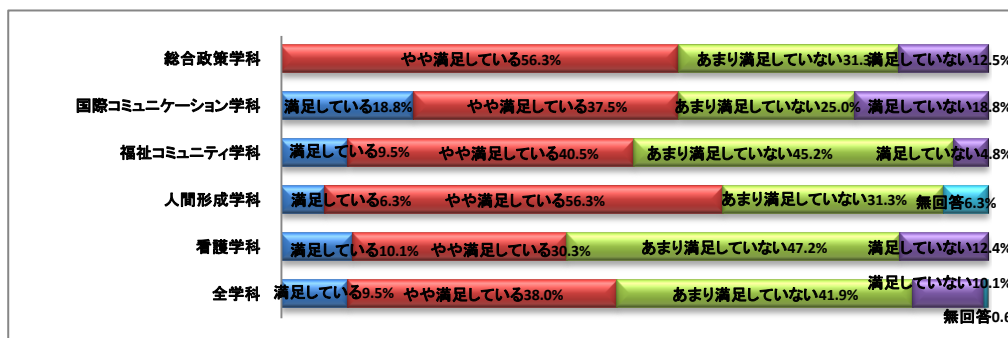
4.演習・実習の充実



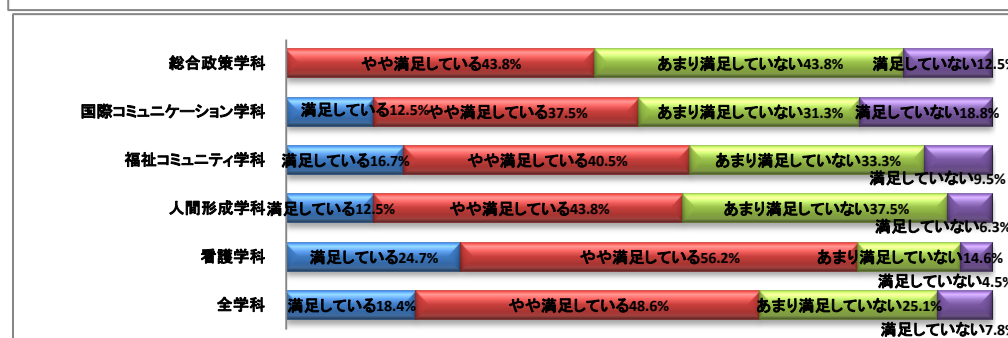
5.人間関係形成・人格形成のための教育の充実



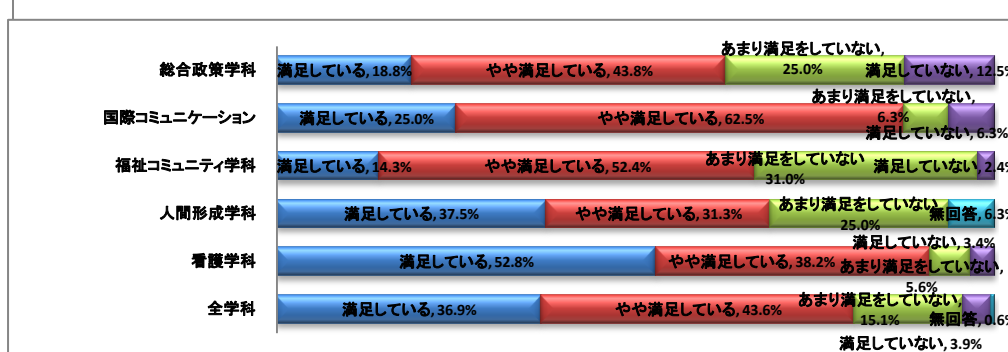
6.国際交流・留学 制度の充実



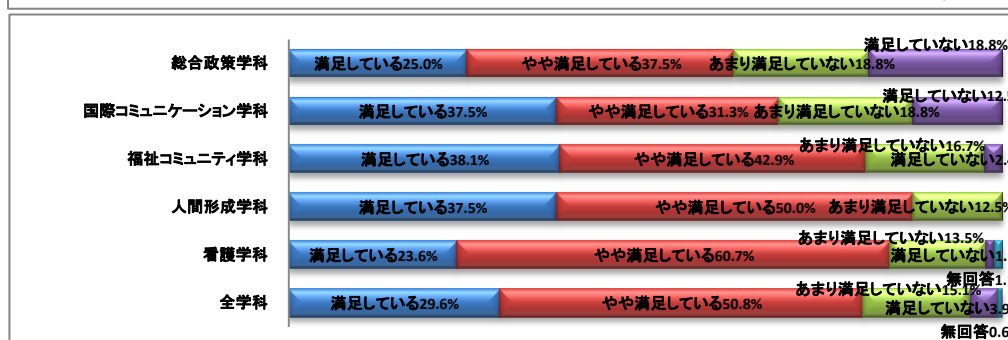
7.教育施設・設備 の充実



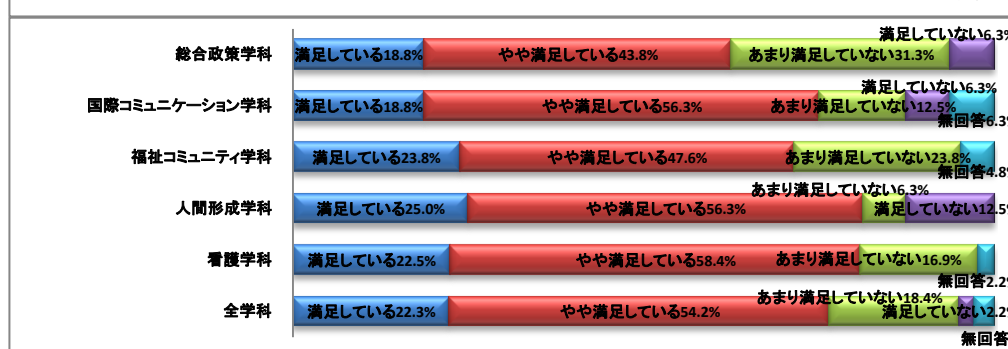
8.研究指導の充実



9.就職・進学指導 の充実



10. その他学生諸 活動に対する支援 の充実



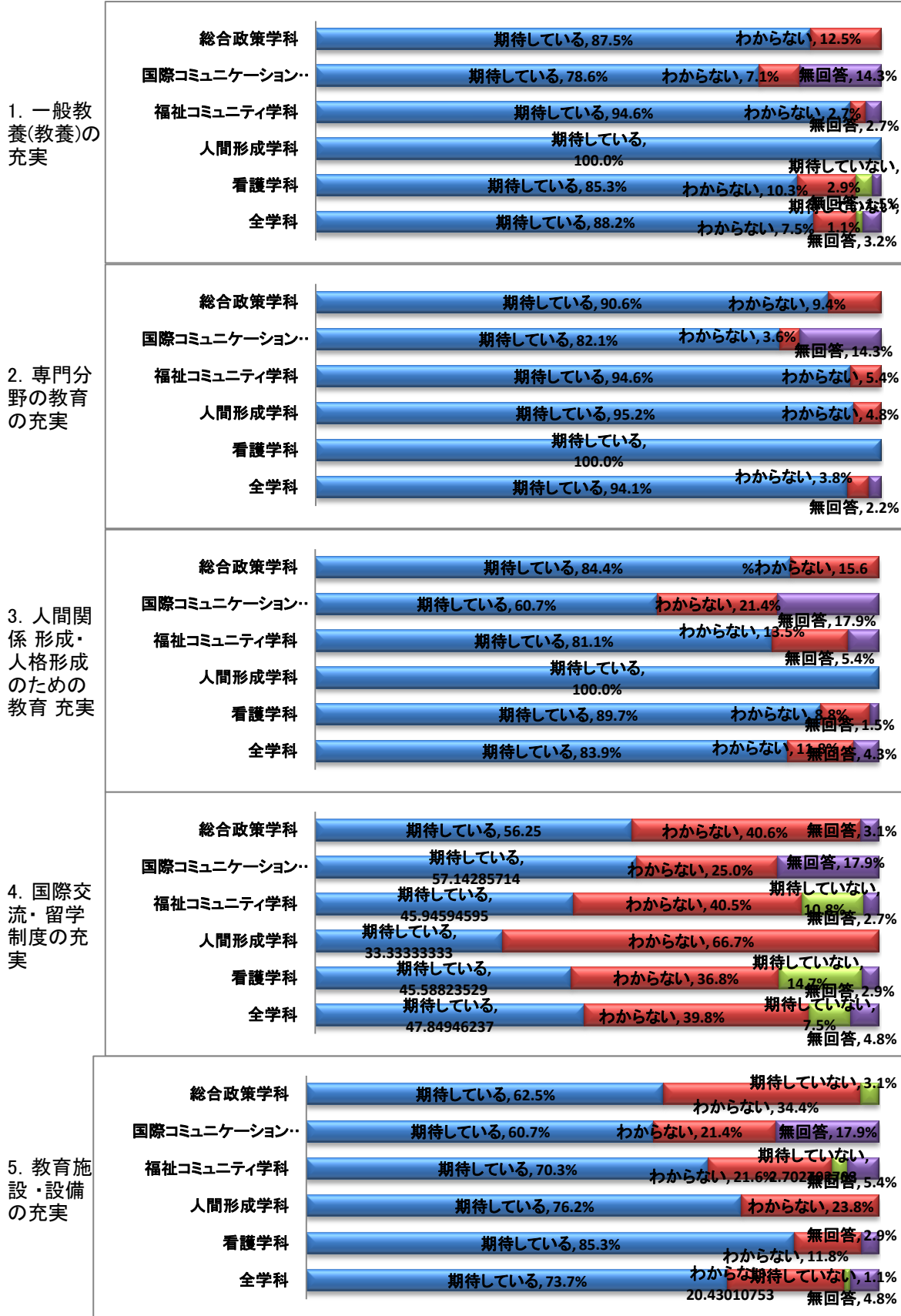
資料4-1 入学生保護者対象アンケート調査結果

I 本学の教育や運営に関する以下の事項に関して該当する番号に○印をつけお答えください。

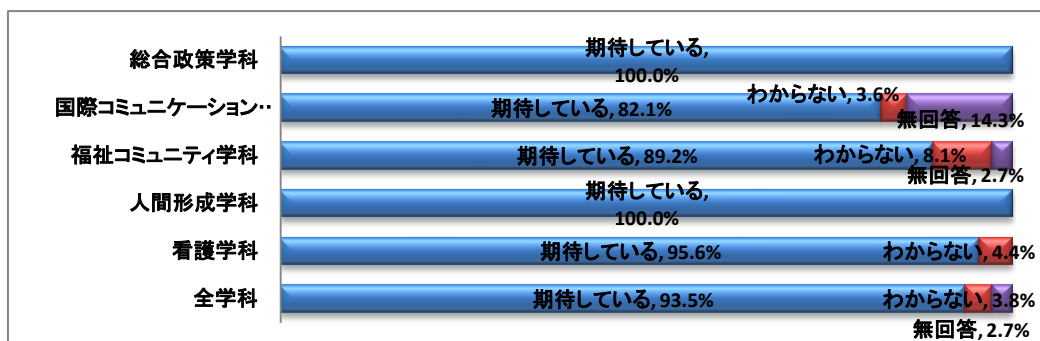
		総合政策学 科	国際コミュ ニケーション学 科	福祉コミュ ニティ学 科	人間形成学 科	看護学科	全学科
1. 一般教養(教養)の 教育の充実	期待している	28(87.5%)	22(78.6%)	35(94.6%)	21(100%)	58(85.3%)	164(88.2%)
	わからない	4(12.5%)	2(7.1%)	1(2.7%)	0	7(10.3%)	14(7.5%)
	期待していない	0	0	0	0	2(2.9%)	2(1.1%)
	無回答	0	4(14.3%)	1(2.7%)	0	1(1.5%)	6(3.2%)
2. 専門分野の教育の 充実	期待している	29(90.6%)	23(82.1%)	35(94.6%)	20(95.2%)	68(100%)	175(94.1%)
	わからない	3(9.4%)	1(3.6%)	2(5.4%)	1(4.8%)	0	7(3.8%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	4(14.3%)	0	0	0	4(2.2%)
3. 人間関係形成・人 格形成のための教育 の充実	期待している	27(84.4%)	17(60.7%)	30(81.1%)	21(100%)	61(89.7%)	156(83.9%)
	わからない	5(15.6%)	6(21.4%)	5(13.5%)	0	6(8.8%)	22(11.8%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	5(17.9%)	2(5.4%)	0	1(1.5%)	8(4.3%)
4. 国際交流・留学制 度の充実	期待している	18(56.3%)	16(57.1%)	17(45.9%)	7(33.3%)	31(45.6%)	89(47.8%)
	わからない	13(40.6%)	7(25.0%)	15(40.5%)	14(66.7%)	25(36.8%)	74(39.8%)
	期待していない	0	0	4(10.8%)	0	10(14.7%)	14(7.5%)
	無回答	1(3.1%)	5(17.9%)	1(2.7%)	0	2(2.9%)	9(4.8%)
5. 教育施設・設備の 充実	期待している	20(62.5%)	17(60.7%)	26(70.3%)	16(76.2%)	58(85.3%)	115(71.4%)
	わからない	11(34.4%)	6(21.4%)	8(21.6%)	5(23.8%)	8(11.8%)	36(22.4%)
	期待していない	1(3.1%)	0	1(2.7%)	0	0	2(1.2%)
	無回答	0	5(17.9%)	2(5.4%)	0	2(2.9%)	8(5.0%)
6. 就職・進学指導の 充実	期待している	32(100%)	23(82.1%)	33(89.2%)	21(100%)	65(95.6%)	174(93.5%)
	わからない	0	1(3.6%)	3(8.1%)	0	3(4.4%)	7(3.8%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	4(14.3%)	1(2.7%)	0	0	5(2.7%)
7. 授業料減免制度の 充実	期待している	17(53.1%)	15(53.6%)	26(70.3%)	13(61.9%)	40(58.8%)	111(59.7%)
	わからない	14(43.8%)	7(25.0%)	7(18.9%)	7(33.3%)	23(33.8%)	58(31.2%)
	期待していない	0	1(3.6%)	3(8.1%)	1(4.8%)	3(4.4%)	8(4.3%)
	無回答	1(3.1%)	5(17.9%)	1(2.7%)	0	2(2.9%)	9(4.8%)
8. 大学独自の奨学金 制度の充実	期待している	20(62.5%)	13(46.4%)	24(64.9%)	13(61.9%)	44(64.7%)	114(61.3%)
	わからない	11(34.4%)	9(32.1%)	9(24.3%)	7(33.3%)	20(29.4%)	56(30.1%)
	期待していない	0	1(3.6%)	3(8.1%)	1(4.8%)	3(4.4%)	8(4.3%)
	無回答	1(3.1%)	5(17.9%)	1(2.7%)	0	1(1.5%)	8(4.3%)
9. 成績通知の充実	期待している	21(65.6%)	17(60.7%)	26(70.3%)	14(66.7%)	50(73.5%)	128(68.8%)
	わからない	7(21.9%)	6(21.4%)	9(24.3%)	6(28.6%)	16(23.5%)	44(23.7%)
	期待していない	1(3.1%)	0	1(2.7%)	1(4.8%)	1(1.5%)	4(2.2%)
	無回答	3(9.4%)	5(17.9%)	1(2.7%)	0	1(1.5%)	10(5.4%)
人数		32	28	37	21	68	186

資料4-2 入学生保護者対象アンケート調査結果

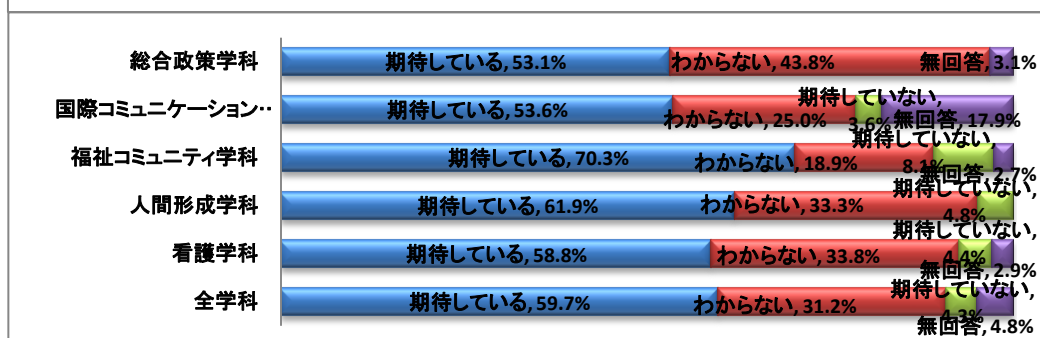
I 本学の教育や運営に関する以下の事項に関して該当する番号に○印をつけお答えください。
(学科別・全学科)



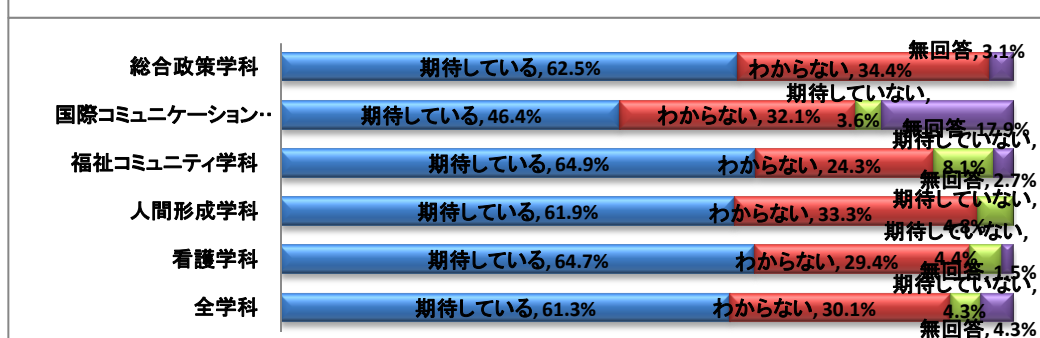
6. 就職・進学指導の充実



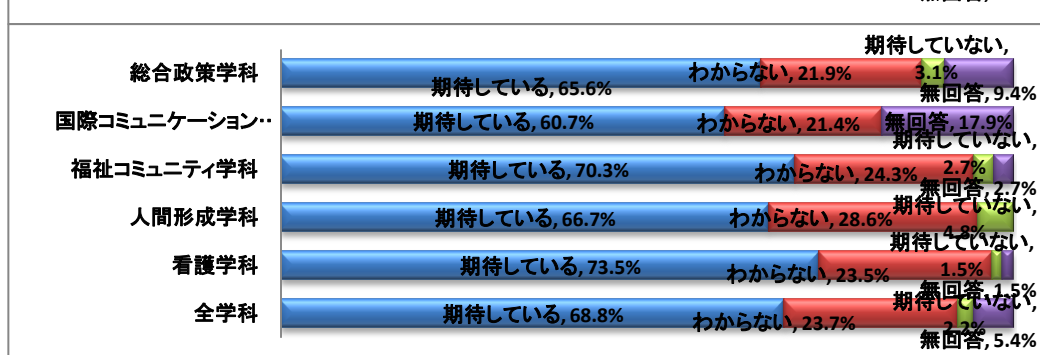
7. 授業料の減免制度の充実



8. 大学独自奨学金制度の充実



9. 成績通知の充実



資料5-1 卒業生保護者アンケート調査結果

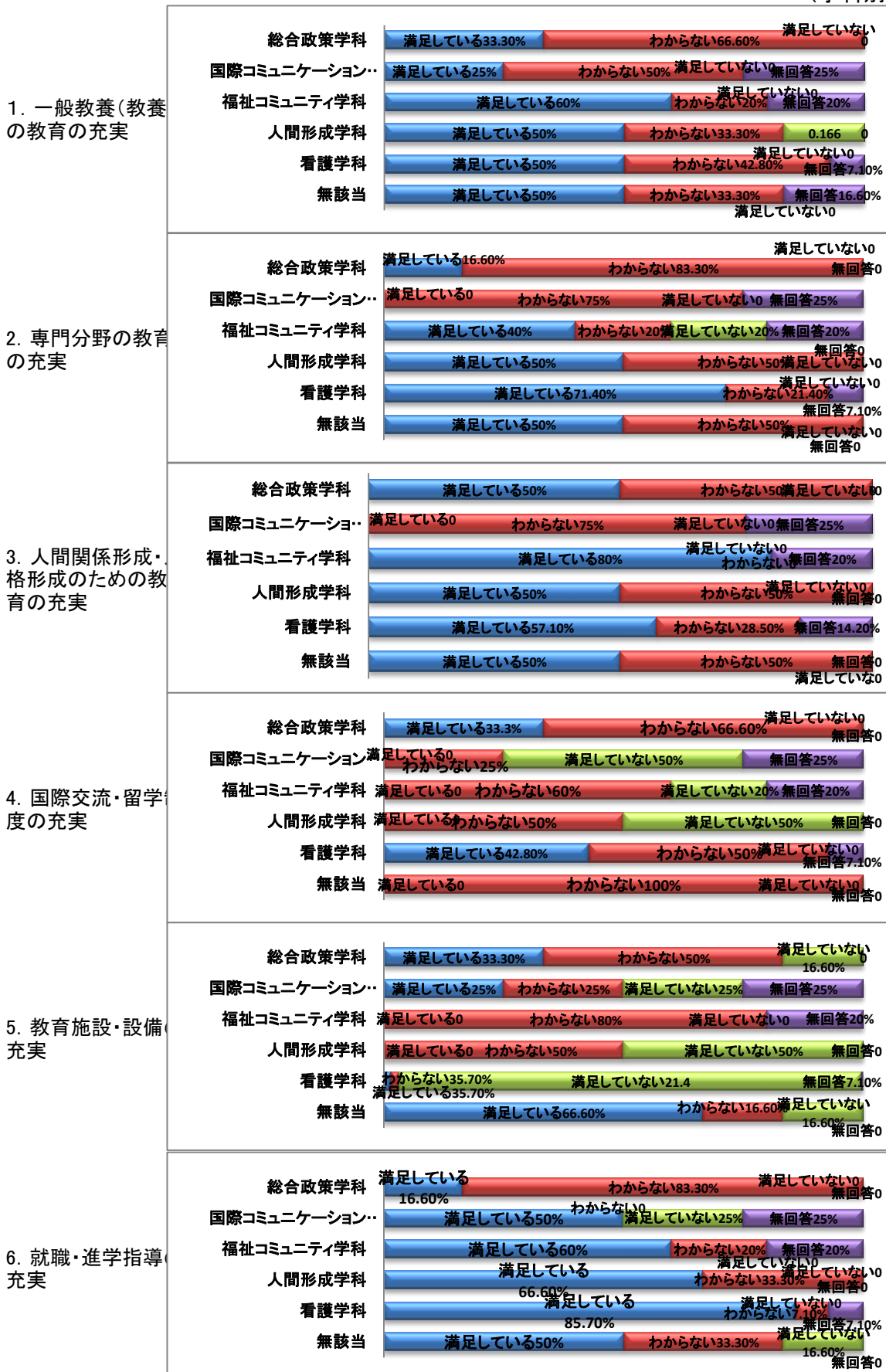
Ⅱ 本学の教育や運営に関して、どのように感じられたかお答えください。

		総合政策 学科	国際コミュ ニケーション学科	福祉コミュ ニティ学科	人間形成 学科	看護学科	無該当	全体
●全体的な量と質への満足度								
1. 一般教養(教養) の教育の充実	満足している	2(33.3%)	1(25%)	3(60%)	3(50%)	7(50%)	3(50%)	19(46.3%)
	わからない	4(66.6%)	2(50%)	1(20%)	2(33.3%)	6(42.8%)	2(33.3%)	17(41.4%)
	満足していない	0	0	0	1(16.6%)	0	0	1(2.4%)
	無回答	0	1(25%)	1(20%)	0	1(7.1%)	1(16.6%)	4(9.7%)
2. 専門分野の教育 の充実	満足している	1(16.6%)	0	2(40%)	3(50%)	10(71.4%)	3(50%)	19(46.3%)
	わからない	5(83.3%)	3(75%)	1(20%)	3(50%)	3(21.4%)	3(50%)	18(43.9%)
	満足していない	0	0	1(20%)	0	0	0	1(2.4%)
	無回答	0	1(25%)	1(20%)	0	1(7.1%)	0	3(7.3%)
3. 人間関係形成・ 人格形成のための 教育の充実	満足している	3(50%)	0	4(80%)	3(50%)	8(57.1%)	3(50%)	21(51.2%)
	わからない	3(50%)	3(75%)	0	3(50%)	4(28.5%)	3(50%)	16(39.0%)
	満足していない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	1(25%)	1(20%)	0	2(14.2%)	0	4(9.7%)
4. 国際交流・留学 制度の充実	満足している	2(33.3%)	0	0	0	6(42.8%)	0	8(19.5%)
	わからない	4(66.6%)	1(25%)	3(60%)	3(50%)	7(50%)	6(100%)	24(58.5%)
	満足していない	0	2(50%)	1(20%)	3(50%)	0	0	6(14.6%)
	無回答	0	1(25%)	1(20%)	0	1(7.1%)	0	3(7.3%)
5. 教育施設・設備 の充実	満足している	2(33.3%)	1(25%)	0	0	5(35.7%)	4(66.6%)	12(29.2%)
	わからない	3(50%)	1(25%)	4(80%)	3(50%)	5(35.7%)	1(16.6%)	17(41.4%)
	満足していない	1(16.6%)	1(25%)	0	3(50%)	3(21.4%)	1(16.6%)	9(21.9%)
	無回答	0	1(25%)	1(20%)	0	1(7.1%)	0	3(7.3%)
6. 就職・進学指導 の充実	満足している	1(16.6%)	2(50%)	3(60%)	4(66.6%)	12(85.7%)	3(50%)	25(60.9%)
	わからない	5(83.3%)	0	1(20%)	2(33.3%)	1(7.1%)	2(33.3%)	11(26.8%)
	満足していない	0	1(25%)	0	0	0	1(16.6%)	2(4.8%)
	無回答	0	1(25%)	1(20%)	0	1(7.1%)	0	3(7.3%)
人数		6	4	5	6	14	6	41

資料5-2 卒業生保護者アンケート調査結果

Ⅱ 本学の教育や運営に関して、どのように感じられたかお答えください。

(学科別)



資料6-1 卒業生就職先訪問調査結果

I 山梨県立大学の卒業生について、以下の諸点に関してどのように評価なさいますか。

		調査施設(就職者数)				
調査数		2(2)	2(2)	9(15)	5(6)	3(38)
		総合政策 学科	国際コミュ ニケーション 学科	福祉コミュ ニティー学 科	人間形成 学科	看護学科
1. 専門的知識・技 術	評価できる	2	1	0	3	2
	やや評価できる	0	1	7	1	0
	あまり評価できない	0	0	1	0	0
	評価できない	0	0	0	0	0
2. 専門的知識・技 術を用いた実践 力・行動力	評価できる	1	0	2	2	2
	やや評価できる	1	2	5	3	0
	あまり評価できない	0	0	2	0	0
	評価できない	0	0	0	0	0
3. 積極性・主体性	評価できる	1	0	3	2	2
	やや評価できる	1	2	6	3	0
	あまり評価できない	0	0	0	0	0
	評価できない	0	0	0	0	0
4. 人間関係形成 (協調性・コミュニ ケーション・リー ダーシップ)	評価できる	2	1	2	3	1
	やや評価できる	0	1	5	1	1
	あまり評価できない	0	0	1	1	0
	評価できない	0	0	0	0	0
5. 豊かな教養	評価できる	1	1	3	3	1
	やや評価できる	1	1	3	1	1
	あまり評価できない	0	0	2	1	0
	評価できない	0	0	0	0	0
6. 探究心・向上心	評価できる	1	1	3	3	1
	やや評価できる	1	1	6	2	1
	あまり評価できない	0	0	0	0	0
	評価できない	0	0	0	0	0

資料6-2 卒業生就職先訪問調査結果

Ⅱ. 今後の山梨県立大学の教育において、下記の諸点に関してどの程度の期待感をお持ちですか。

		調査施設(就職者数)				
調査数		2(2)	2(2)	9(15)	5(6)	3(38)
		総合政策 学科	国際コミュ ニケーショ ン学科	福祉コミュ ニティー学 科	人間形成 学科	看護学科
1. 専門的知識の教育の充実	期待している	1	1	5	2	2
	やや期待している	0	1	7	1	0
	あまり期待していない	0	0	1	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0
2. 実践能力向上のための教育の充実	期待している	2	2	6	2	2
	やや期待している	0	0	1	0	0
	あまり期待していない	0	0	1	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0
3. 人間関係形成やコミュニケーション能力向上のための教育の充実	期待している	2	2	6	4	2
	やや期待している	0	0	1	0	0
	あまり期待していない	0	0	1	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0
4. 問題解決力・分析力を養うための教育の充実	期待している	1	1	6	3	2
	やや期待している	1	1	2	0	0
	あまり期待していない	0	0	0	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0
5. 自立性を養うための教育の充実	期待している	1	1	5	3	2
	やや期待している	1	1	2	1	0
	あまり期待していない	0	0	1	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0
6. 豊かな教養を身につけ、総合的判断力を養うための教育の充実	期待している	1	1	6	3	2
	やや期待している	1	1	2	1	0
	あまり期待していない	0	0	0	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0

学生の皆様へ

本学では、開学から5年が過ぎようとしており、また平成22年4月からは、公立大学法人化が予定されています。このような中で、今後の本学の管理・運営の参考とするために学生の皆様からのご意見・ご要望をお聞かせいただきたいと思います。本調査は無記名です。ご協力をよろしくお願いいたします。

◇下記の質問について、該当する番号に○印をつけ、意見・要望は枠内に記入してください。

学 科 1. 総合政策 2. 国コミュ 3. 福コミュ 4. 人間形成 5. 看護
 学 年 1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年
 性 別 1. 女 2. 男
 入学方法 1. 一般選抜 2. 推薦入学 3. 3年次編入学 4. 社会人入学 5. 外国人留学生

質 問 項 目		回 答			
●大学の目的等について		は い	いいえ		
1	大学の目的について、大学案内・シラバス：HP等で、今までに読んだことがありますか。	1	2		
2	卒業要件について知っていますか。	1	2		
3	成績評価が適切に行われていると思いますか。	1	2		
●オリエンテーションやガイダンスについて		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
4	学年当初に実施されるオリエンテーションやガイダンスは、あなたの履修に役立ちましたか。	1	2	3	4
5	オリエンテーションやガイダンスに関して意見・要望がありましたら、自由に書いてください。				
●学習支援について		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
6	学習を進める上で、担任やチューター教員、科目担当教員からの相談・助言が必要な時に得られたと思いますか。	1	2	3	4
7	本学での相談・助言などの学習支援について、意見・要望がありましたら、自由に書いてください。				
●自主的学習環境について		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
8	自主学習するスペースは十分だと思いますか。	1	2	3	4
		満足 している	やや満足 している	あまり満足 していない	満足 していない
9	コンピュータの利用環境に満足していますか。	1	2	3	4

10	自主的学習環境について不足していると思う点はどのようなことですか、自由に書いてください。				
●生活支援体制について		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
11	生活支援（健康・生活・進路・各種バースメント）等に関する学生相談・助言の体制が充実していると思いますか。	1	2	3	4
●施設・設備について		知っている	やや 知っている	あまり 知らない	知らない
12	あなたは学生便覧、各施設・設備の利用案内等を通して、本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。	1	2	3	4
●授業の質向上と改善等について					
13	あなたが受けている授業の質の向上や改善に向けてどのようなことを希望しますか。教室での授業や履修手続等も含めて、要望をできるだけ具体的に書いてください。				
●国際政策学部・人間福祉学部で検討が進められている大学院設置について		あ る	ややある	あまりない	な い
14	国際政策学部系の大学院への進学に関心がありますか。	1	2	3	4
15	人間福祉学部系の大学院への進学に関心がありますか。	1	2	3	4
16	14.15 で関心が「ある」・「ややある」と答えた人は、どのようなことを学びたいですか、自由に書いてください。				

その他、本学の管理・運営に関して意見、要望がありましたら自由に書いてください。

--	--	--	--	--	--

※平成 22 年 1 月 18 日(月)～22(金)までに、飯田キャンパスは教務室内の指定 BOX に、池田キャンパスは学務課の指定の BOX に提出してください。 ご協力ありがとうございました。

所 属 1 国際政策学部 2 人間福祉学部 3 看護学部 4 事務局
職 名 ()
年 齢 () 歳代
性 別 1 女 2 男

8. 運動場・体育館・講義室等の施設・設備について、現在、困っていること、改善を要望することがありましたら、具体的にお書きください。

[illegible]

9. ご自分の職務を遂行する上で、どのようなスキルアップのための研修会に参加したいとお考えですか。
現在、希望することなどがありましたら、お書きください

10. 本学における教育改善・教職員の資質向上のための活動（FD・SD）やその実施体制に対して、望むことなどがありましたら、お書きください

11. その他、本学の管理・運営に関して、意見・要望がありましたら自由にお書きください。

※平成22年2月5日(金)までに指定のメールBOXに投函くださいますようお願いいたします。(池田C)
ご協力ありがとうございました。

保護者の皆様へ

本日はご入学おめでとうございます。本学は開学から5年が過ぎ、4月から、公立大学法人化に移行しました。このような中で、今後の本学の運営の参考とするためにご入学される学生の保護者の皆様から忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせいただきたいと思います。

調査へのご協力をお願いいたします。本調査は無記名です。

山梨県立大学

◇下記の質問について、該当する番号に○印をつけ、意見・要望は枠内に記入してください。

I. ご入学者の所属学科について該当する番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 総合政策学科 | 2. 国際コミュニケーション学科 |
| 3. 福祉コミュニティ学科 | 4. 人間形成学科 |
| | 5. 看護学科 |

II 本学の教育や運営に関する以下の事項に関して該当する番号に○印をつけお答えください。

質 問 事 項		回 答		
		期待 している	わからない	期待して いない
1	一般教養（教養）の教育の充実	1	2	3
2	専門分野の教育の充実	1	2	3
3	人間関係形成・人格形成のための教育の充実	1	2	3
4	国際交流・留学制度の充実	1	2	3
5	教育施設・設備の充実	1	2	3
6	就職・進学指導の充実	1	2	3
7	授業料減免制度の充実	1	2	3
8	大学独自の奨学金制度の充実	1	2	3
9	成績通知の充実	1	2	3

その他、本学に関して意見、要望がありましたら自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました

卒業生の皆様へ

山梨県立大学は、開学から 5 年が過ぎようとしており、また平成 22 年 4 月からは、公立大学法人化が予定されています。このような中で、今後の大学運営の参考とするために卒業生の皆様からご意見・ご要望をお聞かせいただきたいと思います。お手数をおかけしますが、調査へのご協力をお願いいたします。本調査は無記名です。

◇下記の質問について、該当する番号に○印をつけ、意見・要望は枠内に記入してください。

学 科 1. 総合政策 2. 国コミュ 3. 福コミュ 4. 人間形成 5. 看護
性 別 1. 女 2. 男
入学方法 1. 一般選抜 2. 推薦入学 3. 3 年次編入学 4. 社会人入学 5. 外国人留学生

質 問 事 項		回 答			
I	自分が受けた 4 年間の教育は下記の点において有効であったと思いますか				
		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1	現在の自分の職業上での実践力・行動力	1	2	3	4
2	人格形成	1	2	3	4
3	豊かな教養	1	2	3	4
4	人間関係形成（協調性・コミュニケーション）	1	2	3	4
5	問題や課題の克服・意欲	1	2	3	4
6	今後の自己成長	1	2	3	4
7	その他、4 年間で受けた教育の中で、有効であった点について何でもお書きください				
II	山梨県立大学の教育の質の向上のために、何かご意見がありましたらご自由にお書きください				
III	国際政策学部・人間福祉学部で検討が進められている大学院設置について、お聞きします				
		あ る	ややある	あまりない	な い
1	国際政策学部系の大学院への進学に関心がありますか	1	2	3	4
2	人間福祉学部系の大学院への進学に関心がありますか	1	2	3	4
IV	IIIで関心が「ある」・「ややある」と答えた人は、どのようなことを学びたいですか、ご自由にお書きください				

ご協力ありがとうございました。

保護者の皆様へ

本日はご卒業おめでとうございます。本学は開学から5年が過ぎ、平成22年4月からは、公立大学法人化が予定されています。このような中で、今後の本学の運営の参考とするためにご卒業される学生の保護者の皆様から忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせいただきたいと思います。調査へのご協力をお願いいたします。本調査は無記名です。 山梨県立大学

◇下記の質問について、該当する番号に○印をつけ、意見・要望は枠内に記入してください。

Ⅰ.ご卒業者の所属学科について該当する番号に○印をつけてください。

1. 総合政策学科 2. 国際コミュニケーション学科
3. 福祉コミュニティ学科 4. 人間形成学科 5. 看護学科

Ⅱ 本学の教育や運営に関して、どのように感じられたかお答えください。

質 問 事 項		回 答		
●	全体的な量と質への満足度			
		満足 している	わからない	満足して いない
1	一般教養（教養）の教育の充実	1	2	3
2	専門分野の教育の充実	1	2	3
3	人間関係形成・人格形成のための教育の充実	1	2	3
4	国際交流・留学制度の充実	1	2	3
5	教育施設・設備の充実	1	2	3
6	就職・進学指導の充実	1	2	3

その他、本学に関して意見、要望がありましたら自由に書いてください。

例)授業料、減免制度、大学独自の奨学金制度、成績通知など。

ご協力ありがとうございました

本学学生の就職及びその後の就業につきまして、日頃よりご指導・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、本学では、開学から5年が過ぎようとしており、また平成22年4月からは、公立大学法人化が予定されています。このような中で、今後の大学運営の参考とするため、卒業生の就職先の皆様からのご意見・ご要望をお聞かせいただきたいと思います。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

山梨県立大学

◇下記の質問について、該当する番号に○印をつけ、意見・要望は枠内に記入してください。

就職先名 () 差支えなければ、教えてください。

県立大学からのこれまでの就職人数 () 人

質 問 事 項		回 答			
I	山梨県立大学の卒業生について、下記の諸点に関してどのように評価なさいますか	評価できる	やや評価できる	あまり評価できない	評価できない
1	専門的知識・技術	1	2	3	4
2	専門的知識・技術を用いた実践力・行動力	1	2	3	4
3	積極性・主体性	1	2	3	4
4	人間関係形成（協調性・コミュニケーション・リーダーシップ）	1	2	3	4
5	豊かな教養	1	2	3	4
6	探究心・向上心	1	2	3	4
7	その他、本学の卒業生について評価できることなど、何でもお書きください。				
II	今後の山梨県立大学の教育において、下記の諸点に関してどの程度の期待感をお待ちですか	期待している	やや期待している	あまり期待していない	期待していない
1	専門的知識の教育の充実	1	2	3	4
2	実践能力向上のための教育の充実	1	2	3	4
3	人間関係形成やコミュニケーション能力向上のための教育の充実	1	2	3	4
4	問題解決力・分析力を養うための教育の充実	1	2	3	4
5	自立性を養うための教育の充実	1	2	3	4
6	豊かな教養を身に付け、総合的判断力を養うための教育の充実	1	2	3	4
7	その他、今後の山梨県立大学の教育においてどのような点に期待されていますか、何でもお書きください				
III	山梨県立大学の教育の質の向上のために、何かご意見がありましたらご自由にお書きください				

ご協力ありがとうございました。

発 行：2010 年 7 月 22 日

発行者：平成 21 年度山梨県立大学自己評価委員会

平成 22 年度山梨県立大学自己点検評価委員会

（平成 21 年度）

委員長 伊藤洋

副委員長 遠藤みどり、斉藤秀子

委 員 小沢典夫、藤谷秀、佐藤悦子、松下由美子、林正健二、
波木井昇、黒羽雅子、箕浦一哉、秋山洋一、戸田徹子、
佐野ゆかり、神山裕美、沢登芙美子、高野牧子、
文珠紀久野、名取初美、石田貞代、樽林信昭、中村彰

（平成 22 年度）

委員長 伊藤洋

副委員長 遠藤みどり、斉藤秀子

委 員 深沢博昭、小田切陽一、波木井昇、五味武彦、小沢典夫、
藤谷秀、佐藤悦子、松下由美子、前澤哲爾、堤マサエ、
林正健二、黒羽雅子、箕浦一哉、秋山洋一、戸田徹子、
八代一浩、佐野ゆかり、下村幸仁、沢登芙美子、
高野牧子、名取初美、流石ゆり子、河口洋光、垣内行男

編 集：平成 22 年度山梨県立大学自己点検評価委員会専門部会

連絡先：〒400-0035 山梨県甲府市飯田 5 丁目 11-1

TEL055-224-5261 FAX055-228-6819

担 当：河口洋光 (h-kawa@yamanashi-ken.ac.jp)
